

都立スポーツ施設等指定管理者評価委員会（2日目） 議事録

開催日時	令和6年7月31日（水） 9時00分～14時30分
開催場所	都庁第一本庁舎19階南側 19D会議室
出席者	<p>（委員長） 守泉 誠</p> <p>（委員） 小海 隆樹</p> <p>丸山 正</p> <p>石黒 えみ</p> <p>大日方 邦子</p> <p>（指定管理者） 以下7施設の担当者</p> <p>有明テニスの森公園テニス施設</p> <p>若洲海浜公園ヨット訓練所</p> <p>武蔵野の森総合スポーツプラザ</p> <p>東京都パラスポーツトレーニングセンター</p> <p>夢の島公園アーチェリー場</p> <p>カヌー・スラロームセンター</p> <p>大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場</p>

目次

(1) 所管局一次評価.....	1
一次評価の説明.....	1
所管局一次評価全体を通しての質疑.....	6
(2) 指定管理者によるプレゼンテーション、質疑及び二次評価の審議.....	13
ア：【有明テニスの森公園テニス施設】指定管理者によるプレゼン、質疑.....	13
ア：【有明テニスの森公園テニス施設】二次評価の審議.....	18
イ：【若洲海浜公園ヨット訓練所】指定管理者によるプレゼン、質疑.....	22
イ：【若洲海浜公園ヨット訓練所】二次評価の審議.....	27
ウ：【武蔵野の森総合スポーツプラザ】指定管理者によるプレゼン、質疑.....	30
ウ：【武蔵野の森総合スポーツプラザ】二次評価の審議.....	35
エ：【東京都パラスポーツトレーニングセンター】指定管理者によるプレゼン、質疑...38	38
エ：【東京都パラスポーツトレーニングセンター】二次評価の審議.....	43
オ：【夢の島公園アーチェリー場】指定管理者によるプレゼン、質疑.....	45
オ：【夢の島公園アーチェリー場】二次評価の審議.....	51
カ：【カヌー・スラロームセンター】指定管理者によるプレゼン、質疑.....	52
カ：【カヌー・スラロームセンター】二次評価の審議.....	59
キ：【大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場】指定管理者によるプレゼン、質疑.....	62
キ：【大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場】二次評価の審議.....	67
(3) 全体整理.....	71

(1) 所管局一次評価

一次評価の説明

発言者	内容
小宮山課長	<p>おはようございます。</p> <p>改めまして、ただいまから生活文化スポーツ局指定管理者評価委員会を開催させていただきます。昨日に続き皆様お忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本委員会でございますが、都立スポーツ施設等指定管理者評価委員会設置要綱に基づいて組織されてございます。昨日開催された委員会において、委員長は委員の皆様の互選によりまして、守泉委員長に決定させていただいております。守泉委員長、本日もどうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>本日はですね。午前中、高島が不在にしておりますので私の方で、進行を務めさせていただきます。</p>
澤崎部長	<p>ありがとうございます。昨日に引き続きお集まりいただきましてありがとうございます。本日も昨日と同じ7施設の評価をいただくということになります。先ほど申し上げました通り、本日も速やかな進行に努めたいと思いますので、先生方にもご協力いただきたいと思います。と存じます。</p>
小宮山課長	<p>はい。これより議事に入ります。なお、昨日同様、本日の委員会の会議資料及び議事録につきましては、後日ホームページで公開をさせていただきます。議事録につきましても、昨日同様、発言内容を要約したもので、作成をさせていただきます。</p>
事務局	<p>会議に先立ちまして、事務局から資料のご紹介をさせていただきます。資料についてお手元に配布しています。</p> <p>まず、今回の評価委員会の次第でございます。資料7点でございます。資料1は委員の方の名簿ですが、これは昨日の配付しておりますのでお配りしていませんが、昨日のお使いくださいます。</p> <p>資料2が対象施設の指定管理者の一覧。資料3が指定管理者管理運営状況評価の流れ。こちらは昨日のものをお使いいただけますと幸いです。資料4は施設ごとの一次評価の資料。資料5が本日ご提示します指定管理者の管理運営状況の資料、資料6が二次評価の案。最後に資料7設置要項でございます。</p>
小宮山課長	<p>本日資料2に記載してございます。当局所管の7施設につきまして、所管局による一次評価を踏まえてご審議をいただきます。</p> <p>昨日同様、審議に先立ち、指定管理者によるプレゼンテーション及び質疑を行う予定としてございます。指定管理者評価全体の流れにつきましては昨日同様となりますので、説明は割愛いたします。</p>

続きまして、各施設の一次評価の結果の報告に移ります。一次評価結果報告の後、5分間の休憩を挟みまして、有明テニスの森公園テニス施設他6施設につきまして、指定管理者によるプレゼンテーション、質疑、二次評価のご審議とすることによりお願いいたします。途中お昼休憩を挟み、終了は14時15分頃を予定しています。

それでは各施設の一次評価結果ということで順番にご報告いたします。

まず、有明テニスの森公園テニス施設の一次評価の結果につきましてです。管理状況の点からでございますが、適切な管理の面につきましては、東京都火災予防条例に努める自衛消防活動中核要員の人数につきまして、消防署より不適切との指摘を受けた点がございまして、こちらにつきまして、「△」の評価としています。

そのほか、高齢の人数、緊急時の対応、財務財産管理等につきましては水準通りの評価とさせていただきます。続いて事業効果ですが、利用状況については、5月にテニスコートが全面開業したということで、利用できるコートが10面から49面に増えたということがあります。個人利用者数が大幅に増加しまして、財政利用についても評価、こちらについて水準通りの評価としています。

事業の取り組みですが、テニスコートの増加に合わせて自動販売機の増設をしっかりと対応する。また駐車場運営での立哨警備など施設の状況に応じて適切な運営をしている点、また近隣施設との関係を円滑にするための取り組みなどについて「◎」の評価としています。

以上から一次評価としましては、合計で37点。評価としてはB評価とさせていただきます。

続きまして、若洲海浜公園ヨット訓練所についてです。管理状況については、日常業務に必要な従事者等につきまして監視体制が一部整っていなかった点ということがございまして、こちらについては「△」の評価としています。

そのほか、法令等の遵守、緊急時の対応、財務、運営、財産管理については、水準通り業務が遂行されているとして評価しています。続いて事業効果ですが、利用状況については、冬季の利用者が減少・減低されることを踏まえまして、イベントの企画・プログラムの充実にしっかりと取り組んでいて、利用者の増加をさせている点などが「◎」の評価といたしました。

事業の取り組みにつきまして、他の指定管理者と連携した事業の展開ですとか、体験プログラムの充実化に取り組んでいる。また、更衣室ロッカーの更新等を行うなど利用者の声を踏まえた迅速な取り組みということで「◎」の評価としています。

以上から一次評価としましては合計で38点、B評価ということでさせていただきます。

続きまして武蔵野の森総合スポーツプラザです。管理状況ですが、施設の提供につきまして、優先受付に関して、デフリンピック大会などを見て、適切な案内を行って、団体利用率の向上につなげている点、また初めてバスケットのウインターカップを開催したほか、地域に賑わいの創出として多くのコンサート等を誘致しているという点から◎の評価としています。

法令等の遵守、緊急時の対応、財務、運営、財産管理についてはそれぞれ適切に行われており、水準通りとしています。事業効果についてですが、利用状況については、大型イベントに加えまして、学校や企業の行事を春と秋にメインアリーナの平日利用や、サブアリーナに積極的に誘致したということ。これにより団体利用が増加している点などから「◎」の評価としてございます。併せて事業の取組でございますけれども、職員の勤務時間を柔軟に対応しながら利用者ニーズに応え、それにより利用率がアップしている点ですとか、多目的スペースというところがございますが、こちらにプロジェクションマッピング等を大学ですとか、周辺の施設、地元地等より連携を深めている点などについて、「◎」の評価としています。

以上から一次評価としましては、合計で 43 点、A 評価ということでございます。

続けて、東京都パラスポーツトレーニングセンターについてです。まず、管理状況ですが、施設設備の監視体制の部分について、施設管理業務委託契約仕様書と相違があったということがございまして、「△」の評価としています。法令等の遵守については、水準通り、緊急時の対応については、利用者等に怪我、病气事故が発生した際のマニュアルの整備が必要という点ですとか、保険の保証額について基準を一部満たしていないことから、「△」の評価ということとなっております。

財務運営、財産管理については、計画以上に丁寧に物品の管理を行っている点などから「◎」の評価としています。事業効果ですけれども、利用状況については個人利用、団体利用ともに徐々にではありますが、利用者数が増えている点などから水準通りの評価、取り組み状況ですけれども、事業計画書の通り、スポーツ教室などを開催しているほか、トレーニング室のマシンについて、利用者に使いやすいような工夫等、これらにつきまして水準通り遂行しているという評価です。

一次評価としましては、合計で 31 点 B 評価といたしました。

続いて夢の島公園アーチェリー場です。管理状況については、適切な管理については 1 年間、業務実施計画書に基づいて適切に施設を管理提供していることから、水準通りとしています。

法令等の遵守、緊急事の対応についても、水準通りの取り組みとしています。

財務運営・財務管理につきましては、計画以上の大会開催などで収入をしっかりと確保しつつ、収入の範囲内で適切に利用者にサービスを提供している点から「◎」の評価としています。

事業効果ですけれども、大会数の実績については、計画数の 20 大会に対して、2 倍強の 46 大会開催を実現していることから、「◎」の評価としています。事業の取り組みに関しては、飲食に関する利用者のニーズに対して、きめ細かな対応をしている点などから「◎」の評価としています。

以上から、一次評価としては合計で 40 点 B 評価としております。

続いて、カヌー・スラロームセンターです。施設の提供に関しまして、利用者ニーズに応じた柔軟な対応ということで「◎」の評価としています。法令の遵守については、水準通り、緊急時の対応については、天候の影響が大きい屋外施設ということ踏まえ、独自の取り組みなどを進めている点、こうした点から「◎」の評価としています。

財務運営・財産管理については主に、計画通りの状況を達成している点などから水準通りの評価としています。事業効果ですが、大多数に関しまして計画を上回る実績を達成している点などから「◎」としています。事業の取り組みですけれども、各種事業について、利用者目線で新たな取り組みを積極的に行っている点ですとか、ロケの誘致など多様な施設の利活用に自ら積極的に取り組んでいる点、広報に関しても質量ともに充実した取り組み状況である点などから「◎」の評価としています。以上から、一次評価としては、合計で 48 点、S 評価としています。

最後、大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場です。管理状況についてですけれども、草刈り、人工芝のメンテナンス、落ち葉の清掃などにつきまして計画以上に取り組んでいる点ですとか、大会の誘致などへの取り組み状況などから「◎」の評価としています。法令等の遵守については水準通り。緊急時の対応について、記載をいたしました施設での事故発生の報告に関して「△」の評価ということでございます。

財務運営・財産管理については、支出の見直しなどによって良好な支出収支状況を達成している点などから、「◎」の評価としています。事業効果です。利用状況については、大会数が計画を上回る実績を達成している点ですとか、施設の多様な活用を進めている点などから、「◎」の評価としています。事業の取り組みですが、各種事業につきまして計画通り取り組みを行っている点ですとか、近隣施設公園と連携した取り組みを積極的に行っている点などから、「◎」の評価としています。以上から一次評価としては、合計で 42 点 B 評価といたしました。報告としては以上です。

駆け足でしたけれども、一次評価の結果について、ご質問がありましたらお願い

	いただきます。
--	---------

所管局一次評価全体を通しての質疑

発言者	内容
守泉委員長	<p>まず若州の特徴の例なのですけれどもこの「△」がついている部分というのは維持管理業務の資格の部分ですが、これは法律上はそもそも兼任が可能なのか、可能ではないのか、それはどうでしょうか。</p>
小宮山課長	<p>それは兼任は可能である。</p>
守泉委員長	<p>これは何ていうのか、こことここがほぼ一体みたいな施設だから大丈夫だと言っているのか、それとも条件性の要件というのが外れているから兼任でもいいとされているのか。</p>
事務局	<p>はい、施設として同じ会社が一体として管理しているというところですが、一体性ということ大丈夫だということでございます。</p>
守泉委員長	<p>それからあと武蔵野の森ですけれども、環境と法令の遵守、環境配慮への取り組みのところ「○」なのですけれども、ここはそもそも省エネの施設を入れて作っている施設なので、その施設を運営していること、自体で「◎」にはしなくて、もともとそういうものが入り込んでいるからということであれば、ここところは「◎」になることはないですよ。</p>
小宮山課長	<p>こちらについてはですね、評価の観点としましては、与えられた所与の条件というのはそれぞれ施設で異なるのですけれども、その条件の中で、さらに一個進んだ取り組みができるかどうかというようなところを、水準通りの状況でしっかりとやっていたら「○」と。現状設備条件等はそのものとしながら、さらに利用者、関係団体との取り組みが進んでいけば「◎」ということもございます。</p>
守泉委員長	<p>ちょっと技術的に無理じゃないですか。最新の技術で今のものに組み込めるようなものというのがすでに想定されていて、そのあたりのところが分かっているのにもかからずやらないという可能性があればそうかもしれないですけども、この施設はそれなりのことをやっていて、当初のところでも地中熱ヒートポンプの問題もずっと以前から、例えばドイツとかそういうところでは、大きな施設というのは何十年も前から出ていたのですけど、日本の場合にはこれがなかなかコストが非常にかかるということで、なかなか実現しなかったのが確か、事業者が通常の6割半分ぐらいのところできるとなると技術を出してからだんだん加わってきて入れてきて、今確か、川崎市長さんもこれをやっているのですけど、それに加えてこれ以上のものを今のもので組み込んでやるというものがある程度想定されていて、やるならいいですけども、自分でも東京都も想定できないようなところの部分まで高く要求してやるのは僕は無理だと思います。</p> <p>むしろそれよりも、こういうことが計画値に従った形で実績値もそれに近い数字が出せているということであれば「◎」であるし、それはパフォーマンスがも</p>

	<p>しもできていないということであればこれは「○」ないし「△」でも仕方がないなと思うのですが、それはちょっと自分たちでも想定しないようなことを要求するのは僕は無理だと思っています。</p> <p>それからあともう一つが、「△」で事故があったところがありました。大井ふ頭の事故は具体的にどういうものだったのか。</p>
小宮山課長	<p>施設の休館、使われていない時間帯だったのですが、一部躯体に貼り付けている化粧板が落下した。幸いにも被害などはなく良かったのですが、直ちに安全確認等はしつつ、その報告が東京都に土日を含んできたというような。</p>
守泉委員長	<p>落下した原因というのはどこにあったのですか。</p>
小宮山課長	<p>施工の方の問題、元の施工の問題。</p>
守泉委員長	<p>わかりました。</p>
小宮山課長	<p>環境改良で「◎」になっているというのではないのかな、そうですねないですね。</p>
事務局	<p>今年度ない状況です。</p>
澤崎部長	<p>今の再生可能エネルギーの導入に関する点ですけれども、今回の評価をお願いしますのはあくまでも施設ではなくて、指定管理者の管理状況に関する評価ということになりますので、要するにもう古くてですね、どうしてもエネルギー効率の悪い施設を管理をしている。</p> <p>指定管理者から今お話しいただいたような最新の設備を入れている施設を管理している指定管理業者。それは東京都の用意した設備の良し悪しでもって「◎」になったり悪いになったり、というのはやはりちょっと公平性の問題ではないかと考えておりますので、小さなことかもしれませんが、運営を1年2年とやっていく中で、同じ設備を使いながら時間帯によるこまめな空調の管理ですとか、照明の使い方ですとか、あるいはプールなどの施設であれば水の使用量ですとか、そういうところでどれだけ指定管理者の工夫できるところで改善していくか、というのがこの項目の大きな評価ポイントではないかなということ、少なくとも一次評価ではそういう観点でつけておりますので、そういった意味で今回は「○」と、普通でつけさせていただいているということ。</p>
守泉委員長	<p>それでいいのですけれどもじゃあ、例えば優れた管理をやっていくと、例えばこれに対して「◎」が想定できるようなことが大体このくらいのことだったら入れてもいいよねっていうところがそもそも東京都に頭にありますかって話なのですよ。こういうことも考えられるよねっていうのがあって、やっぱりこういうことをやってくれたよねっていうのであればいいのですけれども、全くそういうことが想定できないような中でつけるとすれば、そもそもそれは評価の項目として適当ではないのではないですか。</p>
澤崎部長	<p>その意味では、具体的に想定を今すぐお示しできませんが、最終的にはそれが</p>

	<p>どういう手法であるかということは、まさに指定管理者の工夫なり、あるいはこれまで施設を管理してきたノウハウということだと思いますけれども、我々としてはやはり、最終的に電気の使用量が減ったとかですね。大体前年と条件を揃えたときに減っている、あるいは気温がものすごく暑い年だったのに昨年の並みに抑えられているとかですね。そういった、最終的な消費量等の数字でですね。</p>
守泉委員長	<p>そういうふうに考えたときに武蔵野の森の場合に、そもそも普通の施設と比べてかなり元々効率性の数字が低くなっているところなので、その余地があったとしても、他の施設のところで例えば10%、20%とかが削減できるようなことがあってもこの施設だったらせいぜいそういうことをやっても、1%か2%ぐらいのものしかできない可能性の施設なんじゃないのかな、ということになります。</p>
小宮山課長	<p>なかなか難しいところであるかもしれないですが、例えば昨日出てきたアクアティックスセンターなんかでもですね、運営を始めて電気使用料が当初の計画よりでしまった中でしっかりと会議体を作って、メーカーとも話をしていますね。</p>
守泉委員長	<p>いやアクアティックスセンターはね。いくらでもやるやり方はあり得る。</p>
小宮山課長	<p>それぞれの施設、なかなかそのハード面は指定管理会社の努力の及ばないところですけども、例えばそのメーカーのそれぞれの機器がしっかりと設定したパフォーマンスが発揮できているかの検証ですとかそういった取り組みをしているというのを私は伺ってまして、ちょっとその結果のところでも一律に判断するのはなかなか悩ましい問題でございますけども、委員のご指摘も踏まえてですね。今後どうしていくかということを考えていくことは必要かな、というふうに感じました。一方で、部長の方から言っていたようにこちらの評価項目につきましてはそれぞれ所与の前提の中で、創意工夫、あるいは利用者への呼びかけ、こまめに電源を切る、そういったところをいかに指定管理者として取り組んでいるかという観点で評価をさせていただくものでございます。そういったところでもよろしいでしょうか。ありがとうございます。</p>
守泉委員長	<p>ありがとうございます。ちょっと一人でしゃべっても申し訳ない。他の方も。</p>
小宮山課長	<p>時間は大丈夫ですね。50分までを予定してございます。</p>
小海委員	<p>昨日確認できればよかったのですが、昨日の質問のところの回答でいただいている部分と他もあるのですが、一つアンケートに関して、昨日1件ですか件数が少ないという話題になって、今日のところはほとんど件数が少ないところが多いと思うのですが、共通で行ったアンケートのやり方というか、それとそこから抽出したデータというのが出さされていて、11項目ぐらいある中の5項目だけ取り出して一次評価の表に入れた。結局それが評価に関連性のある項目を抜粋しました。それだと今回共通にやったアンケートの意味がないように私は思うのですが、今まで違う形で5項目があつて、今回新しくせつかく、項目を増や</p>

	<p>したのがいいかどうかは別なのですが、それが繋がってなくて、11項目もあるのに5項目だけ取り出して一次評価のところにもまとめてしまうと。それでいいのかな、というのがあります。多分、今後どう使うかということだと思います。</p>
小宮山課長	<p>共通アンケートというのは昨日も出ましたけど、評価員の皆様にも指摘いただきしっかりと各施設共通で利用者の満足度を測っていくことで取り組み始めたものですが、初年度なかなか各施設でやり方を模索したような1年間だったかなと思います。取り組み始めたものですが、評価の考え方を含めて改めて次年度に向けて検討できるかと考えています。</p>
小海委員	<p>加えて、結果は集計されているのですが、数値のデータだけ出てきて、こういう意見があったというはあるのですが、それを分析して次どうするかみたいな。そっちのところはまだ多分、今回遅れていると思うので、ただちょっとざっとそのアンケートを見させていただいて、結構よくばりすぎたのかなと。</p> <p>逆に、もうちょっと集約した形でも共通のアンケートでいいのかな、という気はしました。これ多分いっぱいあるとすごい後の集計とか分析が大変で、分析した結果が出されているところもあるのですが、最初大盛りでしたけど、別のところで、別の取り扱いをしていたので、あそこまでやるとかなり手間がかかる。あれをやれとなったらちょっと対応できないところが多いと思うので、その辺もご検討いただければ、と思います。</p> <p>あとすごく細かいことなのですが、最初いただいて一次評価の点数が2つの施設集計のデータが飛んでくのが間違っていて、その修正いただいたデータを送っていただいたのですが、その過程の中でちょうど今日のところですか、有明のところは1点間違っていたのが修正されていて、ホッケー場のところが大きく違っていて、最初のデータだと36点が44点じゃなきゃいけないというデータだったのですが、送られてきたデータが1ヶ所に「◎」が「○」に変わっていてそれがちょっとなぜかな、と。具体的には一番初めの適切な管理の(1)のところは最初いただいたのは「◎」になっていたのが「○」に変わって44点か42点になったのですかすみません。</p>
小宮山課長	<p>施設の安全性の確保のところでしょうか。</p>
小海委員	<p>安全性の確保ですね。今日の資料の評価の内容のところにも(1)、(2)の両方合わせた内容が書かれていて、それを高く評価されて両方当初「◎」だったと思うのですが。</p>
小宮山課長	<p>そうですね、すみません。そういう意味では当初の評価で2番目のこの清掃のところについての評価ということで今「◎」ということで記載のとおり、草刈りですとか人工芝のメンテナンスというのは、これはあくまで全体というよりも清掃の部分で評価すべきであろうと。</p>

	<p>全体の管理のところにつきましては、もう少し広い設備点検ですとか、そういったところも含めてのところですか。そこは水準通りということが妥当であろうと、それが個別に言及できないままのご案内になっていたことにつきましては説明不足と考えます。申し訳ございません。</p>
小海委員	<p>昨日も今日の中で多分あると思うのですが、評価項目にもある事業効果の方の事業の取り組み 2 番ですね。その (1) がスポーツ振興事業に関する事、(2) が自主事業に関する事で大枠として評価されていると思うのですが、ここで質問させていただいた、ちょっとどっちに入るか分からない別なのかって、周辺事業に関して協力して地域連携事業という言葉で言われているものが多分自主事業の枠の中に入って評価されていると思うのですが、その辺の整理というか、共通理解した上で話ができればいいかなと。</p>
小宮山課長	<p>おっしゃる通り、事業の区分けというのが我々として指定管理者の間では、契約の中で事業計画書というのがあって、これは何々事業、これは周辺連携事業というように分かれていますので、評価いただく委員の皆様に分かりにくいというのはご指摘の通りだと思いますので、ご案内の過程でもう少し分かるように、ということで報告できればと思います。</p>
守泉委員長	<p>具体的に昨日の部分は、小海先生が言ったみたいに、自主事業に含まれるということなのですか。地域連携、ちょっと勘違いしたら教えてください。(1) のところのスポーツ振興事業等のところに含まれていると思っていたのですが、ちょっと僕が勘違いしたらすみません。</p>
小宮山課長	<p>周辺連携に関しまして、各施設の協力などの明示がないのでおっしゃる通りだと思います。全体として、この (8) のところで、周辺の施設との連携等につきまして各施設に記載いただいているという状況でございます。</p>
小海委員	<p>地域連携も同じですね。</p>
小宮山課長	<p>大枠の中では、指定管理者が自らやっている事業という意味で自主事業という。広い意味では自主事業で、小海先生のご指摘の通りです。我々その中でも、自主事業の中でも区分けをしまして、周辺連携等というようなものと、まさに自分たちの施設を使って自主的にやっている事業、というのが、用語の定義が不明瞭であるというご指摘だと思いますので、今後改善できればと思います。</p>
小海委員	<p>プレゼンの方で各施設が出してくる中でどこに入っているかということのちゃんと確認していないのですが、もしかしたらぐちゃぐちゃになっている。各施設の方は、それは今のような形で了解するので、ちゃんと整備されている。</p>
小宮山課長	<p>そういう理解でございます。日頃の業務におけるコミュニケーションでも、周辺連携事業として、各施設とやり取りをしています。</p>
小海委員	<p>ありがとうございました。</p>

石黒委員	すみません。1件コメントと1件質問で、アンケートについて、今年度からあまり経緯を把握していないのですが、これでやってくださいとお願いしてやってもらっているのですか。
小宮山課長	委員会の中での指摘もあった中で、事務局として、そういうふうに行っていく必要があるだろうと始めたものです。
石黒委員	<p>そうすると、やり方がちょっと施設によってまちまちなのが気になって、もし施設間の比較をしたいのであれば、いくつかのグループに分けて平均的な日にやってくださいとか。イベントあるときとかじゃなくて、というふうにこちらから実施方法をガイダンスするとか。個別施設の縦断的な変化を確認するのだとすれば、それは施設に決めてもらえばいいのですけれども、それも、年ごとに取る月が変わったり、曜日が土日なのか平日なのかが変わってくるので、そのあたりは何のためにやるかということを考えて、こちらの方から実施方法をガイダンスをして差し上げると良いのではないのかなと思いました。というのがコメントです。</p> <p>1件質問で12番のパラトレセンなのですが、施設設備の適切な管理と緊急時対応で「△」がついているのですが、管理の方で契約仕様書に明記されていないことが分かったってあるのですが、これ作ったのは指定管理者かもしれないのですが、それも確認してなかったのでしょうかということと併せて、緊急時の方も保険の保証額が要件に達していなかったということ。これも加入するときに事前に等は確認するのかもしれないのか、そのあたりをお聞かせいただければと思います。</p>
事務局	基本的に仕様書であるとか基準に記載してあることですので、それを守っていただくという前提でございます。一件ごとの指定管理者での契約内容までの確認はできないのですが。
石黒委員	それは保険の方ですか。
事務局	保険、仕様書共にです。仕様書は指定管理者が業者と結ぶものでございます。ただそれに先立って東京都の方としても監視体制というところが指定はというところではございますので、管理標準規約の中で。
石黒委員	管理者の契約書に、明記されていなかったということですか。
事務局	仕様書一件のチェックまではしていない。
石黒委員	わかりました。
大日方委員	例えば管理状況の施設の提供についてというのがそもそも誰に対する提供というものか。
小宮山課長	これは利用者。
大日方委員	利用者という点のどの点の評価になるか。

小宮山課長	そうですね。いろんな観点がございますけれども、これはしっかりと安全性を確保しつつ、しっかりと問題なく施設提供利用ができているかというところが、まずはございます。その上で、利用がたくさん出ているですとか、そういう意味での観点というのでもかなり広めなところかなと思います。
大日方委員	それが管理の方であり、その収支にもつながり、利用状況でも評価され、事業の取り組みとしても評価される。結局、利用促進のつながりみたいな、何重にも評価を積み上げていくというか、一個うまくいくと、そういうことで、理解が良いですか。
小宮山課長	やはり、管理がしっかりされているというのがまずベースにあるのだと思います。ここがしっかりされていないと、利用者の方に利用していただくような環境が整っていないということになりますので、まずはこの緑色の部分がしっかりされていることを前提に、その後のこの事業効果のところにつきましては、より多くの方に利用いただいたり、そのための工夫をしているとか、利用者の声が好評であったりとか、そういったところを事業効果のところで見ているという状況になっています。
澤崎部長	多分原因とその結果みたいなものがダブルで評価されてしまうのではないかと。大日方委員のおっしゃることは確かにそういう面はあるということですが、それは一つの事業なりのこのプロセスとこのプロセスを二重に評価するというのではなく、この原因によりこういう効果があった、ということなので、確かにどうしても全てを切り分けることは難しいと思いますけれども、最終的にその経営状況に反映されていく結果で評価されるべきところですね。例えば、一部を貸したときに、その片方を同時に使うのが難しいので、シャットとってしまうということではなくて、何らか工夫をして両方使っていただけるようにすると、それは利用者サービスにもなりますし、収益にもつながってくるわけですが、そういうプロセスを別途評価するというのは、我々はありと考える取り組みをしているという考え方です。ちょっと極端な例ではありますが。
大日方委員	ちょっと私もこの委員会は初めてなので、何となくとの理解との共通理解ができていないのではないかな、というところが気になっていて、難しいなと思いました。ありがとうございます。
小宮山課長	他、よろしいでしょうか。よろしいようでしたら一次評価に関するご説明につきましては、以上とさせていただきます。その後およそ5分間休憩を取らせていただき9時48分ですので、53分頃から指定管理者の次のプレゼンということでさせていただきますと思います。ありがとうございます。

(2) 指定管理者によるプレゼンテーション、質疑及び二次評価の審議

ア：【有明テニスの森公園テニス施設】指定管理者によるプレゼン、質疑

発言者	内容
事務局	<p>それでは指定管理者によるプレゼンテーションになります。プレゼンの時間は10分間の時間厳守をお願いいたします。プレゼンの後に質疑の時間を報告のまま残しておりますので、よろしくをお願いいたします。プレゼンにつきましては、残り3分のところでベルを一度鳴らします。10分経ちましたらベルを二度鳴らします。それではよろしくをお願いいたします。</p>
施設職員	<p>有明テニスの森公園を管理運営しております有明テニスマネジメントチームです。どうぞ、よろしくをお願いいたします。</p> <p>本日の資料ですが、令和5年度管理運営状況と写真添付した補足資料をご用意しております。有明テニスの森公園テニス施設は、2020東京オリンピック、パラリンピックの開催に伴う再整備工事を経て、令和5年5月に全面再開業となっております。再開業に伴い、利用者数など利用実績は大きく増加しておりますが、かような背景がありますので、本日の説明中に割愛させていただきたいと思っております。それでは資料にそってご説明いたします。</p> <p>まず、施設設備の適切な管理として新規施設のためですね。大きな修繕項目はありませんでしたが、再整備中の休止期間にネットポールの差し込み金具に不具合が生じていることが判明し、ネットポストの加工を行い、再開業に向けて迅速に対応しました。また、弊社パークメンテナンス方式より効率的効果的な維持管理を実施しております。</p> <p>次に、施設の清潔さでは屋外コートにおいては全面再開業に合わせたコートの洗浄再開業後もですね。直営によるコート洗浄、清掃等を継続しております。インドアコートにおきましては、毎日営業終了時にロボット掃除機、ハンディー掃除機を使用して清掃を行い、より快適な施設の維持を行っております。これら直営作業につきましては補足資料の写真をご覧いただきたいと思います。</p> <p>続きまして、人員配置及び人材育成の取り組みとしてですが、維持管理に必要な有資格スタッフを配置しております。上級救命技能認定ですとか、初級障害者スポーツ事業員などが在籍しております。加えてですね。オリンピック整備前の繁忙期を経験をする社員を再配置しております。大会、イベント挑戦に関するノウハウの承継を継続して行っております。続いて施設の提供に関してですが、当例、パンパシフィックオープンやジャパンオープンテニスなどの国際大会のほか、バスケットボール、ハンドボールなどの体育館競技やスケートボードの五輪予選を兼ねた世界大会を開催しました。特にテニス大会に関しましては、関東ジュニア、全日本ジュニア、全国レディース、ソフトテニスの天皇杯、皇后杯とい</p>

った大会を新規に開催。テニス、ソフトテニスとも全日本チャンピオンを選出する施設となっております。特に、公式テニスにおきましては、12歳以下のジュニアからシニアを除く18歳以上のカテゴリーまで全ての年齢カテゴリーの日本チャンピオンは有明テニスのコートから誕生しているところでございます。

次に、法令遵守、個人情報などにつきましてですが、社内規定に基づき適切に対応するとともに、情報セキュリティ部門による自主検査や標的型攻撃命令の訓練を、不定期、未告知で実施しております。情報管理体制の確立を行っております。防災への配慮に関しましては、消防計画に則りまして年2回の防災訓練を実施しております。また、一次避難施設の開設訓練におきまして、東京臨海防災公園様と連携した訓練を実施し、相互連携を確認しております。また、全体の多言語表示や高齢者や女性向けの衛生用品の配布に関する掲示等を追加しまして、より避難者に配慮した対応を想定した訓練を行っております。補足資料に、訓練写真を掲載してございますので、ご覧いただきたいと思っております。

中段の収支状況、個人団体利用につきましては、冒頭申しました通り全面再開業となっているため、全面移動、大幅に向上しております。下段の方に移ります事業の取り組みについてですが、まずスポーツ振興につきましては、有明の森スポーツフェスタやテニスの日のイベントを開催しております。キッズジュニアですとか車椅子の体験などで多彩なコンテンツを実施しました。さらにトリプルスやチームコンペティションでは、3人制テニスの大会を開催しております。障害スポーツとして比較的身体負担の少ないですね。新たなテニスに見られる機会を提供させていただきました。補足資料に開催写真がございましてご覧いただきたいと思っております。

続いて、新たな自主事業についてですが、日本テニス協会様と連携して、クラブハウス2階ロビーにテニスミュージアムの常設展示を行いました。また、有明テニスヒストリーコーナーを1階通路に展示しております。その他、遠路にランニングコースこれ1キロのものなのですが新たに設定して、コースガイド、距離表示、これを直営でコース上に塗装しております。こちらも写真でご確認いただければなと思っておりますけれども、特にランニングコースの距離表示はゼロをボールに見立てるなど大変ご好評いただいている。というようなところでございます。

次に利用者に対するサービス提供なのですが、園内の自動販売機を増設しております。また、午前7時からの早朝利用の開始ですとか、コンテナガーデン教室で製作した大型プランターによる園内の装飾などに加えまして、よりわかりやすい案内を行うためのコートサインの増設ですとか、公園利用者の駐車場確保を目的として、近隣施設で祭事が開催される日は立哨警備を実施するなどの取り組みを行っております。こちらも写真をご覧いただきたいな、というふうに思っております。

次に利用者ニーズの把握に関してですけれども、10月に有明をご利用いただい

	<p>ている各国のテニス協会様ですとか日本テニス協会、日本ソフトテニス連盟様と利用者懇談会を開催し、意見交換、要望などを聞き取りいただくこととなっております。ご要望がありました臨機応変なゲートの会場時間ですとか、伝言版の設置などは、迅速に対応しているところでございます。</p> <p>最後に、その他の事項といたしましては、テニス大会ですとか、全国大会の場として優先的に施設を提供した他、先ほどご説明しました既存の大規模大会のほか、ソフトテニスの天皇杯、皇后杯とか、全日本ジュニアなどの開催をしております。そのほか、バレーボールやバスケットボール東京都が共催に座組みに入っておりますら、スケートボードの世界大会など多岐にわたるイベントを調整、無事開催しております。また、特にスケートボードなどはそうだったのですが、本番期間中に限らず準備撤去など、深夜早朝に及ぶ立合い監督業務の対応をしております。こちらも施設の提供という項目で写真を添付しております。</p> <p>特に、スケートボードの設営風景をご覧いただけるとわかると思うのですが、大掛かりのコースの設営で期間中深夜早朝までスタッフが対応しておりました。なるべく汗をかいてサービスを提供しようという姿勢でいろいろと取り組みをさせていただきました、以上で私どものご説明を終わらせていただきます。</p>
小宮山課長	はいありがとうございました。
丸山委員	1点だけ、あの実は私ニューススポーツのパドルテニスというので、お伺いしたことがあるのですよ。非常に綺麗になってて、皆さんすごく良かったという。好評だったのですけれども、ご質問をさせていただいたら、今はニューススポーツを開放していませんという風になってますけれども全く今ニューススポーツに開放していないのですか。
施設職員	そうですね。大会ですとか、イベントのコンテンツとしてニューススポーツ、テニス系のニューススポーツの種目ですね。例えば我々もテニスの日ですとか、手のひらケットというような形の。これはニューススポーツというよりもお子様向けの少し小じんまりとした展開なのですけれども、そういったものはコンテンツとしてご提供させていただきますし、大会の主催者様の方がそういったご提案をいただいた場合にはこちらの方でもご対応させていただくのですが、いかんせん、年間200本以上の大会をやっている施設ですので、普通のレベル感でニューススポーツをお受けしてしまうと、テニスの愛好家の方が僕らが使えないのに何でだということになりかねない。
丸山委員	確認しているだけでも18種目ぐらいあるのですよ。一緒でもいいのですよね。ありがとうございます。
小宮山課長	質問はいかがでしょうか。
小海委員	利用者ニーズの把握に関して確認したいのですが、今のご説明だと、利用者

	<p>懇談会を利用してということなのですが、その他に利用者アンケートの2種類があります。昨年度からの共通のアンケートと独自のアンケートでやられたと思うのですが、共通のアンケートの検出数があまり多くなかったのはどういう理由でしょうか。</p>
施設職員	<p>デジタルアンケートのことをお話しされているのかと思います。デジタルアンケートは私どもも大会の主催者や参加者にチラシやQRコードの配布を行って働きかけをさせていただいたのですけれども、正直申し上げてあまり反応が良くなかったという。残念な思いでいるのは確かです。</p> <p>特に、施設独自のアンケートはずっと継続してやっていたものですから、我々はデジタルアンケートにノベルティを用意したりとかさせていただいたのですが、特にアンケートの期間中で週末に特に人が多く来場されるのですけれども、週末はどうしても大会が多くなってしまいますので、最初アンケートを取り始めた時は、大会の主催者さんの方に行って団体の方をお願いします、もしよろしければ選手の方にもお願いします、という風に斡旋をしていたのですけれども確か、3ヶ月くらいの期間だと思うのですけれども同じ方がご来場になっちゃうのですね。大会の主催者さんとかという形でそうなってくると、リピート期間みたいな形にぶつかってしまったところもあったので。今年もご検討されているということなので、特に個人の部分についてのアプローチ方法を変えようかな、というふうに施設の方では検討しているところです。</p>
小海委員	<p>ありがとうございました</p>
小宮山課長	<p>他、いかがでしょうか。</p>
大日方委員	<p>スポーツ振興事業について一つお伺いしたいのですが、3人制のテニス大会を開催しているというところなのですが、こちらは一般的に大会としてこの3人制というのが行われるようになっているのか。</p>
施設職員	<p>そうですね。正直に申し上げて、まだまだ認知度はそんなに高くないかなと思っています。ただ手前どもの有明テニスマネジメントチーム、弊社のとか、コンソーシアムパートナーで日本テニス事業クラブさんと一緒にコンソーシアムを組んでいるのですけれども事業クラブさんの方も、スクールさんですとかクラブですとか、そういったところで非常にトリプルスには力を入れていて、全国大会をやったりですとか、この間も夏7月ですか。札幌で大きな大会をやられたりとかというふうな形で徐々に浸透しているのかなと、上級者だけじゃなくて上級者と初心者と混じったりだとか、親子でやったりだとかというような形で、トリプルスは本当に非常に幅が広く楽しめるスポーツだと思っていますので、我々指定管理者としても、いろいろとイベントのコンテンツではなるべくトリプルスを宣伝していきたいなというふうに思っています。</p>

大日方委員	これはどのくらい回数として提供できると思いますか。
施設職員	トリプルスはオリンピック前くらいからですね。2018、19年くらいからそれ以前から実は3人制であったのですけれども、トリプルスという名前がついて、だんだんルールであったりだとか、そういったものが成長していったというか、形作られてきた。昨年、昨年くらいから全国大会をやるようになってきましたので。
小宮山課長	よろしいでしょうか。他に質問はないようですので、この後審議に入らせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

ア：【有明テニスの森公園テニス施設】二次評価の審議

小宮山課長	ここで審議の進行は委員長に交代させていただきます。守泉委員長よろしくお願いたします。
守泉委員長	それでは有明テニスの森、この施設の二次評価について事務局により説明をお願いいたします。
小宮山課長	二次評価案につきましてご説明申し上げます。管理状況等につきましては、自衛消防の中核病院の件以外につきましては適切に管理が実施されており、事故等も発生していないという点ですとか、緊急時のマニュアルの更新等もしっかり行われているというようところで評価をいただいています。また、事業効果のところでも、開業後に利用者が増えている。また、幼稚園等との交流事業、地域交集等を積極的に行っている点など評価ができるということで、利用者等にもつながっているということでコメントをいただいております。
守泉委員長	はいありがとうございました。それでは有明テニスの森公園の評価につきまして調整させていただきます。皆さんの評価だと、4名がB評価で、1名がA評価という形になっております。そのための調整が必要ですので、まずA評価とされた方の方からの意見をお聞かせいただきたいと思いますが、お願いします。
小海委員	<p>改めて事務局の点数を見ると37点で、これが点数からするとかなりかけ離れた評価かもしれないですが、昨日も申し上げたのですが、全体的な評価として、例えば項目があって点数をつけるときに「◎」と「○」かしかないですけど、「○」よりはいいですよみたいな。トータルした評価としてみると、Aでいいのかなという形で、私はAをつけたというところです。</p> <p>ただ、一部の方は、利用状況の数が「◎」になっていました。利用状況が上がってないのですよ。ここが「◎」かなと見えたところだったので、ただ、スポーツ振興事業と自主事業はそれほど増えていないというところからするとBという評価でも構わないということではあります。Aにしてもいいのかなという。以上です。</p>
守泉委員長	他の方、何かご意見はございますか。先ほどの丸山委員のお話は、ニュースポーツの形がちょっと半分不満なのか。
丸山委員	<p>ニュースポーツってもともと、さっきのパドルテニスって大人が公式テニスをやっているときに、子どもなんか、やっぱりただそこにいるのじゃなくてね、子どもにもやらせたいと言って、アメリカで子ども用に作ったものなのですよ。それが今、大人も楽しむようにしてやっているのがパドルテニスです。</p> <p>テニス型のニュースポーツってあるのですよ。普通、学校の体育館とか町の広場とかそういうところでやってるのですけれども、あそこに行くと、これからテニスやってみたいとみんななっていくので、使えたらいいかな、というふうに思</p>

	って、ちょっと。
守泉委員長	海外の有名なテニス場っていうのもそういうような余地があるのですか。
丸山委員	国際的にはちょっと分からない。
事務局	テニスコートの大きさとテニス場の設備が両方できるスポーツであればそういった利用方法もあるのではと思うのですけど。
丸山委員	テニス型のニュースポーツはコートはそのままだけどボールが違ったり、ラケットが違ったり、ルールが違ったりというのは結構あるのですよ。そのまま使いちゃうんです。
事務局	道具的なものが違うだけであって、テニスコートそのまま使える。おそらく使えろと考えるし、逆にテニスっぽいんですけども、そもそもコートの大きさが違ったりとかっていうニュースポーツもあるかと思うんです。その場合だとなかなかご利用の方が難しい。
丸山委員	全て使えるわけじゃないですね。
守泉委員長	私が育った時代の話っていうのが田園コロシウムで、あの頃のしきたりのいろんなこととか。いまだに私田園コロシアムの会員ですっていう友達とかいるんですけど、それがステータスになってるようなああいう中だと、やはり厳格にそういうものだけを守っていきこうっていうのがやっぱり一つの流れとしてあるのですよね。その一方で、ボールパークのような野球場の考え方があると、やはりそういうものを中心に周辺部分を取り入れてみんなが楽しめる形にしていこうという動機もあって、そのあたりがここをどう捉えるかっていうのもあるかもしれないですね。
小宮山課長	1点事務局からよろしいでしょうか。管理状況のところにも今ニュースポーツの話でテニス利用も可能ということで、特筆すべき評価のところにも会場として利用できるというコメントになっています。今確認されてそれ自体は今は難しいということで、コメントにつきましては修正をさせていただければと思います。
守泉委員長	大日方委員の方で何かコメントとして付け加えるようなところはありますか。
大日方委員	ちょっと1個気になったのが「△」がついているところの自衛消防活動ですね。指定管理者の事業計画としてこういう形で提案された経緯ということで、実際、消防署からの指摘を受けたのでという。少しこの辺りで評価を「△」にしてしまうというのが、もしかしたら本来であれば都側が明文化すべきものがされていなかったということなのではないかなという気になったのですけれども。ここはいかがなものでしょうか。
守泉委員長	私は、公募にすべて法的な条件って入るわけではなくて公募以前のそもそも施設として守らなければいけないけれども、上位概念の法は守るのは当たり前で、それにプラスして公募条件が書かれているのでこのところはないから、という

	<p>ことではないのかな、というように理解をしていたのですが、そういうことでよろしいでしょうか。</p>
小宮山課長	<p>そうですね。テニス施設が拡充したことによって規模が変わったというところがございましたので、それも踏まえてしっかり対応してなかったのじゃないかという主旨かと思いますが、守泉委員長がおっしゃっていただいた通り、基本的には法令に関しましてはしっかりと遵守をしていただくということが基本かなと思っております。</p>
大日方委員	<p>だとすると大切なことと思っていて、こういう認識であるということが全くまずいのですね。事業者側の回答をしているところがあるので、特記事項のところで改善が望まれるというところで法令遵守をしてくださいということについては、今のような施設拡大によって変わった。何か齟齬があったと思いますので、ここについては記載が必要かなと思います。</p>
事務局	<p>よろしいですか。記載の仕方がやや不明瞭かもしれませんが、もともとは足りているという認識で、東京都側も事業者側も始めたのですが、改めて消防の点検の機会、定例の監査の機会です。その時にお話を伺うと、イベントの時には来客が非常に増えたりして、それなりの自衛消防の中核要員を配置しなければいけない。そこの部分の解釈がイベントの時にはイベント主催者がある程度連れてくるという前提で考えておったのですけれども、消防の方からは施設側の要員として構えてないといけないのですよ、という指摘だったので、結果的には適合していないと。</p> <p>なんですけれども、消防の方も普段足りていないわけではないので、今後資格を取得ということで、当面は結構ですよとはっきりおっしゃった。あえてのご指摘はいただかないということで、ただ当然、改善を目指してください、約束してくださいねという状態で、一応ご了承いただいているという認識でございますので、法令に適合していないという状態ではないということだけご承知をお聞きいただければと思います。以上です。</p>
守泉委員長	<p>ですから、法令等の順守(4)のところ「△」つけずに上の方でやったということですね。行政法上の行政指導という形にとどまっているということになりますということで、よろしいですか</p>
大日方委員	<p>はい。ただ、素人には分かりにくいです。あと聞いた感じだとやっぱり、有明は普段はすごく少ない人数で使っているけれども、イベントの時に大量に人が入るといのは確かで、それを主催者任せにはいけないよ、という消防の視点は確かにそのとおりだなと思いました。安全確保の観点から都にとっても重要だと思っていて、都もそういう認識を持っていなかったということなので、都も指定管理側も同じように今後についてはそこは認識をしていただきたい。非常に重</p>

	<p>要な何かひとたび事故が起きた時にじゃあ、どっちの責任だったか、な擦り付けるわけにはいかない問題だと思いますので、そこは今後運用していくところでここに限らずだと思いますので、しっかりとお互いに取り組んでいくということが重要なな思っております。</p>
<p>守泉委員長</p>	<p>ありがとうございました。先ほど小海委員の方のお話もあったように、Aという話もありますけれども、一次評価通りということで、見るということさせてもらってよろしいでしょうか。ありがとうございます。ではそういうことで終わりにさせていただきますと思います。</p>

イ：【若洲海浜公園ヨット訓練所】指定管理者によるプレゼン、質疑

発言者	内容
小宮山課長	はい、ありがとうございます。それでは続きまして、若洲海浜公園ヨット訓練所によるプレゼンテーションに参りたいと思います。
事務局	それでは指定管理者によるプレゼンテーションになります。プレゼンの時間は10分間。時間厳守をお願いいたします。プレゼンにつきましては、残り3分のところで一度ベルを鳴らします。あと10分経ちましたらベルを二度鳴らしますので、一つのプレゼンで終了とさせていただきます。
施設職員	<p>若洲海浜公園ヨット訓練所、シーサイドパークグループの私、東京港埠頭の藤崎と申します。よろしく申し上げます。隣がハーバーマスターの高橋でございますどうぞよろしく申し上げます。高橋はマリンプレイス東京の所属となっております。後ろに本社の山本と山崎がおります。よろしく申し上げます。それでは令和5年度の管理運営状況につきましてご報告をさせていただきます。</p> <p>まずは、施設利用状況、個人利用ヨット教室について説明をさせていただきます。一般とジュニアヨット教室の利用者数は1,437人で令和4年度の1,302人より135人、10.4%の増加となりました。内訳は一般ヨット教室が117人、10.7%、ジュニアヨット教室が18人、8.7%の増となっております。増加の要因につきましては、今までのPR活動に加え、都立スポーツ18施設連携による新たな広報活動の効果によるものであると考えています。続きまして、事業実施状況のスポーツ振興事業についてでございます。ヨット体験場の選開に130人、ヨット教室プレ体験講座は149人、障害者セーリング体験会に220人、東京港レガッタは43人、マリンスフェスティバルに90人、まつりレガッタは385人、サマーズカップに68人、バレンタインカップは29人となりまして合計1,114人となりました。セーリングは。天候に左右されるため公展中止となってしまった事業もありましたが多くの方に参加いただき、セーリングスポーツの普及及び振興を確実に展開しました。</p> <p>次に、自主事業について説明させていただきます。中高生を対象としたユースクラブ支援事業に55人、高等学校セーリング部活動支援事業は751人、小中学生を対象としたジュニアユースセーリング部支援事業に1,151人。障害者選手育成強化事業は13人。東日本障害者セーリング選手権大会に80人、ラジコンユートレイン集会は110人、安全講習会に42人、会場クリーンアップは55人、東京港清掃活動紹介に19人、環境教室は63人で合計2,339人となりました。セーリングスポーツの普及や競技力向上、施設の賑わい創出につながる様々な事業を展開し、幅広い層の利用促進も図りました。また、東京港清掃活動をきっかけにして、ヨット訓練所内のスロープなどの陸上げした会場浮遊ゴミを定期的に清掃船</p>

に回収してもらう仕組みづくりも行いました。

続きまして周辺連携事業についてでございます。フォトコンテストに 199 人、東京アクアティクスセンターで開催した子どもヨット体験は 27 人、環境美化活動 200 人で合計 326 人となり、各施設の特徴を引き出すことにより施設の魅力向上と活性化を図りました。特に、子どもヨット体験はおこないプールで気軽に体験できたことをきっかけとしまして、ジュニアヨット教室の問い合わせが増加しました。

次は、利用者サービス事業でございます。売上は約 300 万 4,000 円、講義室貸出事業は約 11 万 3000 円、臨時駐車場は 21 万 8,000 円、自動販売機事業は約 24 万 2,000 円、写真撮影等の受付事業は約 32 万 8,000 円で合計は 309 万 5,000 円となりました。利用者ニーズに応えたサービス事業を展開し、利便性やサービス向上を図るとともに、その利益を確実に確保することによって、管理運営費に還元しました。

続きまして、施設維持管理状況の施設設備保守点検等について報告いたします。利用者の安全安心を確保するための日常巡回点検を着実に実施して、不具合箇所を発見した場合は、不具合庁所に記載し、迅速に対応を行いました。不具合の発見件数は 31 件あり、うち 30 件は対応済みとなっております。また、スロープ利用の安全を確保するため、スロープ面に付着した藻等の清掃作業を定期的に行い実施して、危険防止に努めました。

次は安全確保、防災訓練でございます。地震等の大規模災害時の適切な対応に向けて、現場での防災訓練、一次滞在施設としての訓練、ゴルフ場、キャンプ場ヨット訓練場を含めました。若洲地区と本社と連携した大規模地震発生時の初動対応訓練を令和 6 年 2 月 27 日に実施し、災害時における危機管理能力の向上と防災への意識の拡充を図りました。

続きまして事業効果の事業の取り組み、利用者満足度について報告いたします。スポーツ 18 施設のデジタルアンケート結果は、まあ満足している以上が施設満足度では 86%、用具充実度が 93%、安全管理が 93%。清掃状況は 86%、案内表示が 86%、インストラクターは 100%、総合の満足度でも 86%と高い評価でありました。

次はキャッシュレス化についてでございます。キャッシュレス決済は導入済みでありましたが、決済可能目柄の拡大や受付窓口での PR を行ったことで利用率が 21.4%から 52.6%に増加しました。大人の場合、ヨット教室の利用料が 7,000 円になりますので、そちらではキャッシュレスでお支払いになりたい方が多かったのかというふうに分析しております。

最後に、その他でございます。従前により実施している、財務会計、情報セキュリティ、人事関係についての社内内部監査とコンプライアンス研修などを確実に

	に実施しまして、適正な管理や事故防止に努めました。短い間ですが、以上でございます。
小宮山課長	どうもありがとうございました。それでは、ただいまのプレゼンテーションの施設運営等につきまして、委員の皆様よりご質問がございましたらお願いいたします。
守泉委員長	2点の質問と1点の要望なのですが、まず1点目が自主事業のところでは浮遊ごみを定期的に清掃船に回収してもらう仕組みを作った。というのは、これはどこかでやってもらったという解釈なのか、それとも自らやるということですか。
施設職員	はい自らでございます。私ども、東京港埠頭株式会社の事業の中にはですね。東京都港湾局から業務委託を受けた清掃船の会場清掃事業というのがございまして、私の訓練所も当然管轄に入りますので、もともと浮遊ごみを陸揚げをしたのですが、そこの処理費をかけるよりは浮遊ごみとして清掃船に回収してもらうという。そこを連携してお願いをしまして、受け入れてもらうようにしました。
守泉委員長	わかりました。2点目に関して、防災訓練のところなのですが、この地域のところで具体的に大規模な地震が発生した場合に避難訓練というのは、どこに避難するような考えですか。一番高いところという想定になりますので、
施設職員	一番高いところという想定になりますので、ゴルフ場のクラブハウスのちょっと先のところが一番50メートル60メートル近い高さになってますので、建物が倒壊とか液状化がしてない場合にはそちらに避難するように想定しております。
守泉委員長	東京湾がどれだけ上がるかというのは、東京都を含めて想定をしているのはあるのですが、あまり学者の中ではそれはあまり現実的ではなくて、50、60メートルじゃ難しいのじゃないかという話も出てますが、一応そういう形でやってらっしゃる。
施設職員	あとは橋に囲まれてしまいますので。
守泉委員長	あと1点、これは要望なのですが、以前より内部監査項目の中で財務や会計とかに関して検証をやっているということなのですが、NPO法人のマリンプレイス東京に関しては確かに以前の基準の中では、NPO法人の会計基準というのは大体3種類ぐらいのものが使われていて、企業会計型だとか公益法人型のものがあつた。そのところが統一されてNPO法人会計基準とができていますね、ですから、現在はNPO法人会計基準に従った形で東京都に関しても開示をしていただきたいのです。それはもうかなりのNPO法人がそういうことを守ってますので、研修やりましたというのであれば、まずその辺の自らをきちっとやっていただきたいというのが要望でございます。
施設職員	今NPOマリンプレイス東京につきましては、顧問に本人会計士の方をお願いして、月々会計のチェックをしてもらって合ってるか、合っていないかということ

	ですね。それに準じて処理をするようにやっていますので、徐々にではあるかもしれませんが。
守泉委員長	徐々にではなくて会計士であればその辺りは知っているのが当たり前ですので、それはもうやってないとすれば基準違反という形になりますので。
施設職員	もう指導を受けてますので。
守泉委員長	指導を受けたらすぐにやってください。
小宮山課長	はいよろしいでしょうか。その他いかがでしょうか。
石黒委員	施設設備の適切な管理の項目について、先ほどの質問でご回答いただいている内容と再確認させていただきたいのですが、事前にいただいている話だと、業務専任者が選任されていなかったということなのですが、それはその認識で合っていますのでしょうか。
施設職員	2月の実地調査の時にそのようなご指摘がありまして、事実上は選任をしているのですがその辺が、届出が出てないというのですか、実は若須海浜公園が一体になってまして、ゴルフ場とヨット訓練場、同じ受電設備になっておりまして、そこで受電設備の電力契約会社でありますゴルフリンクスの方で専任技術者を選任しておりますので委託になります、そういった認識でございましたので特別届出をしているというところがなかったということでございます。
石黒委員	配置しており事実上も対応可能だったが、届け出だけが出されていなかった状況だったということですか。それはもう解消済みですか。
施設職員	解消で報告しております。
石黒委員	わかりました。ありがとうございます。
丸山委員	あまりもうそんな問題じゃないですけどね。これ回答を読んでみたら、特に初心者の場合、恐怖心があるのでそれを持たないようにさせると書いてありますけど、転覆するっていうことは時々あるのですか。事故にはなってない。
施設職員	転覆はあります。転覆するというのはユットがひっくり返ることなのですけども、ひっくり返っても船は沈まなくて、必ず救命同意を受けてロープに捕まっているとか、船に捕まっていますので、その近くには2隻ぐらい救助手がしっかりおりますので、もう本当に数秒で1分も経たないぐらいですぐ手を差し伸べられる状況であります。
丸山委員	なるほどそれは普通にあることなのですね。そうですね。
施設職員	普通にあることで、ただヨット教室ということですから、もう自力で起こせるのですけど、その技術がまだないものですから、すぐ手を差し伸べるというインストラクターが。
守泉委員長	一回落ちただけで消耗しちゃうのですよね。
施設職員	そうですね。

守泉委員長	僕はやっていたので、特にレースみたいにやるともうその中で2回ぐらい沈したりするみたいな。
施設職員	2回沈するともう体力絶対ないのだから。だから、帆を下ろしてすぐ引っ張って行って上がってもらいます。
丸山委員	ありがとうございます。
小宮山課長	そのほかよろしければまもなく時間ではございましたが、委員の皆さんよろしいでしょうか。それではこの後審議の方に入らせていただきますので、若洲海浜公園ヨット訓練所の皆様、ありがとうございました。
施設職員	ありがとうございました。

イ：【若洲海浜公園ヨット訓練所】二次評価の審議

小宮山課長	それでは審議の進行につきましては守泉委員長に交代をさせていただきます。よろしく願いいたします。
守泉委員長	続きまして若洲海浜公園ヨット訓練所の二次評価案について事務局より説明をお願いいたします。
小宮山課長	はい事務局より報告いたします。事業計画に沿って、ほぼ評価水準通り適切な管理を行っている。また、人員配置等について不十分な面ということで記載はございますけれども、先ほどの質疑の中での質問がされております。また必要な能力と監視体制につきましても同様でございます。また、ヨット教室開催など、スポーツ振興に貢献している公園と周辺施設との協力連携としてイベント等取り組んでおります。
守泉委員長	はい、ありがとうございました。それでは若洲海浜公園ヨット訓練所の評価につきまして調整させていただきたいと思います。委員の皆様ご審議の方よろしくお願ひします。まず一つ、私の方がさっき質問した浮遊ごみを回収しているところなのですが、あれを回収してもらう仕組みっていうのが具体的にどうやっているのかということを知りたい理由っていうのが、実は一次評価のところの環境への配慮の取り組みのところ、そこが加点していないので、そことの関連でどうなのかなというふうに思った部分なのです。結構大きな問題なので、常にどの規模でやるかっていうのは結構大きな話なので、そこも含めて二次評価のところでご検討いただきたいと思います。現在これ4名がB評価、1名がC評価となっております。そのために評価を調整させていただきたく評価についてご意見のある方、特にC評価とされた方の方のご意見をお伺いしたいのですが、よろしくお願ひします。
小宮山課長	C評価は大日方委員です。
大日方委員	すみません。多分それは間違いだと思うのですが、Bで全く問題ないし、むしろプレゼンを聞いてちょっと評価した方がいいかなっていうところ。環境の問題に取り組んでいるところというのと、もう1点いいなと思ったのがレスキュー技術が未熟な団体に対して安全講習会を開催しているという自主事業。どちらも自主事業というところなので、むしろこのことは二次評価として書いた方がいいかな、という風に思います。
守泉委員長	この場所って直接いきなり外海というわけではないので、そんなに波の変化とか気候は大事なのですが、波の変化によっていろんなことを注意しなきゃいけないというものではないのですが、一応は常に監視をして見られるようにしているということがあって、障害者の方、目の見えない方の教室とかもやったりしているのです。ですから、こちらのところに行かれたことはございますか。

大日方委員	はい、あります。
守泉委員長	そうすると、車椅子の目線から見たときにちょっとこれ目線が合わないよねってというのが、ちょっとあったりとかした部分があったので、そういうところの部分はどんだんいろいろと注文をつけていただいて、こういうものを体験していただくと、他の外海のものよりも安全性が高い。私は葉山でやっていたのですが、葉山は結構波の色見ながらもう変えないといけないというか予測をしなきゃいけないので、結構大変なのです。
大日方委員	<p>障害者ヨットで乗りに行ったわけではなかったのですが、ちょっとその視点では見ていなかったのですが、機会があれば。</p> <p>いずれにしてもヨット、私もちょっと経験があるので、沈するのは当たり前なので、そのときに周りがどうやって救助するのか、というのがそういう視点では非常にセーリングを安全に普及させていくという取り組みとしては、自主事業として良いかな、という感じがしています。</p>
守泉委員長	はいありがとうございます。お話を聞かせていただいた中で、Bということで終了しました。あと、先ほどの浮遊ごみの問題も小さいことなのですが、評価するところで少し入れていただければ、本来東京港埠頭株式会社が行っているのが、指定管理者のプレゼンの時に常勤者が来て説明してほしいくらいです。そういう活動も組織としてやっている部分ですので、ちょっと加えていただければありがたいな、というふうに思います。ではこここのところは一次評価通りという形ですいません、よろしく願いいたします。
小宮山課長	はい、ありがとうございます。そうしましたら、ほぼ定刻通りの進行となっておりますので、一旦5分休憩を。
小海委員	<p>先ほど聞けばよかったのですが、プレゼンで利用者満足度のスポーツ18施設デジタルアンケート結果という言葉が出てきて、先ほどから話題になっているのですが、いただいた資料の中にも若洲の集計結果があるんですが、なんか共通のデジタルアンケートのアンケートの項目となんか違う感じじゃないですかみたいな。</p> <p>インストラクターという項目はどこから出てきたのかな。確かに若洲の報告も別の資料にも出るんですけど、共通アンケートの項目にはないような。</p>
小宮山課長	共通アンケートの方にはそういう項目はないですね。
小海委員	ちょっとそのアンケートの種別の使い方が若洲がとずれがあるのかなと気になるのと、いただいた一次評価標の中の14票15票、個人利用14票15票で、その中で出ている結果と今日の報告結果が多分違うので、違うものを持ってきているというような気がしました。
小宮山課長	プレゼン資料と。

小海委員	二次評価のここに書かれている、これは私じゃないと思うんですけど、改善が望まれているとされているのは、私たちがいただいた一次評価の 14 票 15 票を読み取った形なので、なんかぐちゃぐちゃになっているので。
小宮山課長	確認をさせていただくようにします。
小海委員	あわせるとしたら共通の方か。
小宮山課長	基本的にはそのアンケート結果というのは、共通アンケートのところで見させていただいていますので、若洲の方のプレゼン資料との整合性ということで確認をさせていただきます。
小海委員	細かいことですが、今の二次評価の改善が望まれる点に書かれている職員の対応に不満が 21.5%、清掃管理に関する、団体で。
大日方委員	私たぶん私がこれアンケート調査の結果というのを書いた記憶がありますが、これは 4-2 という資料を見て利用状況アンケートを見て (3) の。
小海委員	個人利用の方から職員の対応の不満が 21.5%。清掃に関しては専用利用団体から清掃状態で 26.7%。
大日方委員	1 を見て、なんでこんな感じなのかな。利用者満足、清掃状況が高いと書いてあるので、今回のアンケートの位置づけが私も分からない。
小宮山課長	従来からやっている施設が独自のアンケートのようなものとの、そういう意味で何をピックアップしてご説明すべきかというところかと思いますので、できる限り本日中に確認して報告できればと思います

ウ：【武蔵野の森総合スポーツプラザ】指定管理者によるプレゼン、質疑

発言者	内容
小宮山課長	<p>会議を再開させていただきます。それでは武蔵野の森総合スポーツプラザの指定管理者によるプレゼンテーションをお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは指定管理者に要求するプレゼンテーションになります。プレゼンの時間は10分間、時間厳守をお願いいたします。プレゼンの後に質疑の時間を5分ほど取っておりますので、よろしくお願いいたします。プレゼンにつきましては、残り3分のところでベルを1度鳴らします。また10分経ちましたらベルを2度鳴らしますので、その時点で終了とさせていただきます。</p>
施設職員	<p>武蔵野の森総合スポーツプラザ館長の神野と申します。令和5年度の当館の管理上状況についてご説明いたします。私ども、東京スタジアムグループが武蔵野の森総合スポーツプラザの指定管理第2期を開始した昨年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行しました。</p> <p>これに伴い当館におきましても、令和2年度から落ち込んでいた来場者数及びイベント数がかなり回復いたしました。多くのお客様に楽しんでいただくため、感染対策としてそれまで実施していた制限等を緩和しつつ、東京スタジアムグループの職員が一丸となって心を込めて安全で安心な管理運営を行い、来場者をお迎えしております。委員の皆様には先日当館をご視察いただきましたが開館7年目の比較的新しい施設であるというだけでなく、設備、警備、清掃等スタッフ一人一人が専門性を生かして良い仕事をしているおかげで、きれいで快適な状態が保たれて、皆様に喜んでいただいているものと考えております。</p> <p>それでは最初に、管理、運営状況についてご説明いたします。昨年度は土日を中心に女子バスケのWリーグを始めとする大型のスポーツイベントを45本開催するとともに、K-POPや人気アニメの声優などのコンサートを28本開催し、大勢のお客様にご来場いただきました。また、メインアリーナの平日の利用については、屋内施設であるため天気や猛暑の影響を受けることがないことから、最近では学校の体育祭等の利用が増えており、利用件数は昨年度から今年度まで増加しているところでございます。</p> <p>施設の管理については、安全性を確保するため、施設部門だけでなく、全スタッフが施設の状況に聞くばりし、不具合等がある場合はすぐに連絡を取り合い対応することにより故障やトラブルを防止し、安全で安定した施設運営を行っております。また、イベントの開催時にはイベント主催者の警備や近隣の味の素スタジアムの警備とも緊密に連携し、エリア全体の保安を実施しているところでございます。</p> <p>利用状況でございますが、利用者人数を踏まえ安全かつ的確な運営を行った結</p>

果、前年度比約 128%、168,530 名増の年間延べ 773,610 名の方にご利用いただきました。施設の稼働率は、メインアリーナが 86.3%、サブアリーナが 96.2%と前年度をそれぞれ 16.3%、8.4%と大きく上回りました。また、ジムプールの個人利用につきましては、毎日朝早くから夜遅くまで多くのお客様にご利用いただいております。昨年度は年間で前年度から 24,923 名増の 172,555 名の方にご利用いただきました。特に屋内プールにつきましては、酷暑のためか、夏休み間に利用が非常に増え、お客様の入館順番待ちも毎日のように発生しておりました。

スポーツ振興事業等の実施状況でございますが、地域貢献事業として、様々なアート系のイベントや障害者スポーツ体験など 11 の事業を実施し、前年度から倍近い数の幅広い都民の方にご参加をいただきました。また、子どもや大人、親子連れなど様々な年齢等の対象者ごとに、バレーボールや卓球、ダンスなどのコンテンツを用意するとともに、オリンピアの岩崎恭子さんとの交流を含む 18 のスポーツ振興事業を実施しております。

自主事業についてですけれども、個人のお客様がご利用になる。プールとスタジオにおきましては、合わせて 42 本のレッスンプログラムを提供するとともに、トレーニングジムでインブリード測定やパーソナルトレーニングを実施し、前年度から 8150 人増の 5 万 6167 人のお客様にご参加をいただきました。また 1 ヶ月間プール、トレーニングルーム、スタジオプログラムが利用できる、フリーパスの会員も前年度から 6,119 人増えて 3 万 5,219 人となりました。週に一度お楽しみレッスンを実施し、他の施設で人気のあるプログラムや話題のメニューを紹介し、利用者の反応や参加率を参考にメニューの入れ替えを検討するなど、利用者ニーズに沿ったプログラムの提供に取り組んでおります。

サービス向上に向けた取り組みとして、例えば個人利用につきまして健康増進のために要望が多かったものの、破損などの恐れがあったために禁止しておりましたプールでのスマートウォッチの利用を可とするなど利用者ニーズに応えた対応を行っております。また、アリーナの団体利用につきましても、事前の下に案内や打ち合わせを緊密にこまめに行いまして、イベント内容や希望に応じて入退館時間を可能な限り柔軟に対応しております。こうしたスタッフの丁寧な対応は、利用団体から高い評価を受けているところでございます。

利用者、ニーズの把握でございますが当館独自で利用者懇談会を年度末に開催し、メインアリーナを利用した競技団体 2 団体とコンサート出演者 2 団体との意見交換を実施しております。また、都立スポーツ施設共通アンケートにより、サブアリーナとジムプール利用者につきまして、利用者アンケートを実施しております。令和 5 年 3 月に取りまとめました利用者アンケートの総合満足度項目では、ジムプールの利用者は 96.8%、メインアリーナの利用団体、スポーツ競技団体、イベントプロモーターは平均 94.5%、サブアリーナの利用団体は 100%から

十分満足、満足との回答を得ました。特に、清掃状態、清潔さ、建物、施設利用料金、安全管理で高い評価をいただいているところがございます。また、コンソーシアム間の連携連絡は日常において常に行っております。電話メール、直接会って話をしているところですがこれに加えて、施設全体でコンソーシアムメンバーによる会議を月1回程度開催し、施設利用に関する情報共有と対応策の検討を行い、課題については、改善できるものから順に、迅速かつ適切に対応しております。

利用促進への取り組みといたしましては、当館で開催されるスポーツや興行イベント、当館が主催するイベント等の案内、開催報告及びスタジオプログラムにつきまして、当館のホームページで見やすい形で掲載し、情報提供を行っております。さらに SNS を活用して、毎朝開館時間やメインアリーナでの催し物、駐車場の状況等を発信し、営業状況を確認しやすいようにするとともに、ホームページで更新内容をお知らせしております。その他、大型イベントの際は、物販開始時間、カフェの情報、京王電鉄と連携して実施している臨時停車の情報等を積極的に発信しております。また、味の素スタジアムとともに、当館の基本情報や、当館で開催されるイベントの情報が掲載されたイベントチラシを3ヶ月ごとに作成して、地元自治体や町内会等約100カ所に配布・情報提供するとともに、最寄り駅の飛田給駅構内及び近隣の飲食店のラックに設置し、情報発信に努めております。

その他の取り組みといたしましては、多目的ルームを活用して、先日皆様にご視察をいただきました際、ご覧いただきましたように、ガラスアートやプロジェクトマップングといったアート系のイベントを行いました。また、地元市と連携して、車椅子バスケットボールのイベントを実施したり、福祉作業所、地元市の福祉作業所の出張販売等を館内で実施しております。また、隣接する味の素スタジアムやパラスポーツトレーニングセンターとは運営・施設管理の面で緊密に連携しています。さらに、東京都が地元4市と締結いたしました風水害緊急時避難場所施設利用の協定に基づきまして、指定管理者として訓練等に協力しております。

以上のように、私ども東京スタジアムグループは競技大会や地域スポーツの拠点として多摩のスポーツ振興に貢献するとともに、大規模イベントの会場として、またアート面についても地域の庭園に貢献するという当館の設置目的の実現を目指し、昨年度も着実に管理運営を実施いたしました。コロナの感染拡大が一区切りつきまして、都民の皆様のスポーツに対する意欲やコンサートなどのイベントに参加したいという意欲を強く感じた。1年間ございました。多摩地域にありますスポーツ施設として地域の皆様にさらに楽しんでいただける施設となりますよう。指定管理者として館の運営を今後も行っていきたいと思います。私

	からは以上でございます。
小宮山課長	どうもありがとうございました。それでは、ただいまのプレゼンテーションにつきまして、委員の皆様よりご質問等ございましたら、5分程度のお時間でお願いできればと思います。ご発言をお願いいたします。
丸山委員	1点だけ。まずは6月28日に施設見学させていただき、いろいろお世話になりました。ありがとうございます。多摩地区はアクセスがなかなか良くないのですよね。前回私、中央線沿線の方たちの利用が少なかったのということ。ちょっとお願いしたところなんかあれですね。中央線沿線の方が増えるということは、私は向こうに住んでますのでありがたいと思っています。これからも頑張りたいと思います。ありがとうございます。
施設職員	ありがとうございます。当館京王線が最寄り、西武多摩線が近いのですけれども、多摩地域どうしても横の動きの方が電車では便利で、なかなか縦が難しいのですけれども、当館駐車場の方も134台ございまして、車でのご利用もたくさんいただいております。電話とかで中央線の方からお問い合わせもいただいております。バスのご案内とか小まめにさせていただいたり、車のご利用の方もご案内させていただいておりますので、本当に多くの方にご利用いただけますよう。今後も取り組んでいきたいと思っています。
丸山委員	よろしくをお願いします。
小海委員	利用者ニーズに関して昨年度から共通のアンケートの施設。いろんな施設で共通のアンケートが行われて集計とかを武蔵野の方だとかなり細かく集計されたデータが出てきているのですが、大変じゃありませんでしたか。
施設職員	今までこの共通アンケートができる前は、独自でアンケートをやっております。以前は委託してアンケートと分析をしていたのですが、今回共通アンケートを全体でやるということで、アンケートはもちろん使わせていただいているのですが、分析の方は、引き続きもう一個のメインアリーナの利用団体ですね。スポーツ団体とかイベントプロモーターと聞き取り用。そういうのもありますので、合わせてその分析と一体的にやって間、全体の皆様の利用状況とかご意見を把握しているところですのでそうですね。
小海委員	最初からやられてましたっけ、もうずっとですか。
施設職員	もうずっとですね。
小海委員	ちなみにニーズを把握して分析も結構されているので、その結果例えばそれが利用促進への取り組みみたいところに反映されたみたいな具体的な例はありますでしょうか。
施設職員	はい大変様々なご要望をいただくものですから、私の方で一つの案として受け止めさせていただいてまして、実は館内のWi-Fiの施設の整備とかですね。イベ

	<p>ントのプロモーターさんの方から。実際には利用者用の Wi-Fi の設備が完備しているのです。けども。館内のプロモーターさんが運営をするときに使えるような設備が設置しておりませんので、そのような設置を要望されたりとかっていうのはしております。昨年度の調査におきましても、その内容はございましたので、私共の方としても、取り組みに向けて検討を進めていく、という形でございます。</p>
守泉委員長	<p>はいありがとうございました。もう一つ、初期の頃からアンケートを取ってやってきたのが、以前の時も、これをもうちょっと精緻化してデータベースマーケティングにつなげていって、いろんな施策につなげてほしいというようなことを提案してきましたけども、それがだいぶできてきて、それで戦略の方向性が明確になってきたなというふうに思います。</p> <p>特に、スポーツとアートの融合という部分からすると、アート系のイベントをやっていたり、それをうまくつなげていくというところは非常にいい観点だなというふうに思いますし、これに加えて館内の音と光っていうポイントで少し何か加えるものがあるとすると、非常にアピールする独自性というものが出てくるんじゃないかなと思いますので、現行の戦略の下で今後コロナの問題がどうなるか、またここについてまだ増えているみたいなのですが、今度は具体的な稼働率が出てきたり、というところが明確に出てくると非常にいいでしょうね。あとちょっと余計なことなのですが、調布市というのは、以前も調布市長と話をしたときに、あそこは公的な病院を市として持ってないのですよ。他に医療機関があるからだから、財政が非常に楽で豊か、管理がやりやすいのですよって話をしましたので、そういう面で考えると、将来的に見ると、地域の医療機関と組んで認知症プログラムみたいな形に協力をするというのの一つ次の道筋としてはあり得ることなのかなと思いますので、今後検討していただければこの調子でやっていただけると、また高い評価が得られるのではないかなと思いますので、今後も頑張ってください。</p>
施設職員	<p>ありがとうございます。今お話にありましたスポーツとアートの融合で先ほどもご説明しましたけれども、昨年度はプロジェクションマッピングを多目的ルームで実施をいたしまして、その時は音楽も流して非常に学生さんの作品で素朴なものだったのですが、桜の花びらと音楽が連動して利用者の方が喜んでいました。だきまして、そういったような取り組みをやっていけたらいいなと思っております。医療機関との連携というのは初めてお聞きしまして、また、今後将来的なことになろうかと思えます。</p>
守泉委員長	<p>次のものとしてヒントになることかなと思います。</p>
小宮山課長	<p>ありがとうございます。その他、よろしいでしょうか。よろしければ時間でもございますので、以上で審議に移りたいと思います。</p>

ウ：【武蔵野の森総合スポーツプラザ】二次評価の審議

小宮山課長	ここで審議の進行は委員長に交代させていただきます。守泉委員長よろしくお願いたします。
守泉委員長	それでは武蔵野の森総合スポーツプラザの二次評価案につきまして、事務局より説明をお願いいたします。
小宮山課長	武蔵野の森総合スポーツプラザでございます。適切な管理がしっかり水準通りされているという点ですとか、利用者と積極的にコミュニケーションを整うとする姿勢が伺える点、障害者雇用について積極的に行われている。自主事業とも、スポーツ振興事業とも、年々増えている参加者が増えている。利用者満足度調査報告書等の分析などについて触れていただいています。
守泉委員長	はい、ありがとうございます。武蔵野の森総合スポーツプラザの評価につきまして、調整させていただきます。委員の皆様よろしくお願いたします。まず評価のところなのですが、ここはかなり皆さんの評価が分かれており、一人がS評価、3名がA評価、1名がB評価という風になっております。こちらの一次評価がA評価という形なので、S評価の方とB評価の方のご意見を伺わせていただきたいのですが、よろしくお願いたします。
小宮山課長	S評価をいただきました小海委員。
小海委員	<p>スタート当初からずっと見ていた形のことからしてすごい軌道に乗っている形が見えたのが、一番大きく見ると、そういうことですね。今のプレゼンでもあったのですが、本当にいろんな工夫をしてどんどんどんどん取り入れているのが見えるのでA評価でもいいのですが、形になってきていると私は思いました。</p> <p>唯一、先ほど質問させていただいたアンケートの分析。最初は多分あまり人もいなかったのが結果もついていなかったのが、今回たまたま他のところと共通になったので、その差がはっきり出ちゃって唯一ちゃんと分析してそれが先ほどの一つご説明あったのですが、いろんな形で活かされているのが出ているところかなと思ったので、そういう意味ではSかな、ということです。</p>
小宮山課長	B評価は丸山委員です。
丸山委員	多摩地区に新しい施設で、何年も使っている施設と比べてこれは当然のことかな、というふうに思って、これが普通でBだろうというふうにつけたのですが、一つ一つ比較しないで見ていくとかなりAに近いというふうに思っています。
守泉委員長	地元の方からするともっとこうしてほしいというのは、ご要望はすごくよく分かる。一方の小海委員のおっしゃったところは私もこの施設はまだ開館する前に作ったばかりの時から行かせてもらって、それで始まったばかりにも見せていただいたので、その時から比べると、先ほど小海委員もおっしゃったみたいに、

	<p>いろんなところ努力をして、さらにここはデータを重視したデータから何か得られるもので、地域独自のものをもっと入れてほしいという意見をずっと継続的に申してきたのですが、それがおっしゃったように、大分実現はしている。</p>
丸山委員	<p>そうですね。アクセスの問題は非常に努力されているということがよく分かります。</p>
石黒委員	<p>今のプレゼン聞いて S よりの A だなという意識を持ちました。カヌー・スラロームセンターが一次評価で S、資料を見る限り私も S と思ったのですが、やっぱり S つけるってかなり重みのあることだと思うので。ちょっとそこのバランス、プレゼンだったらそれ聞いてから判断でもいいのかなと思った次第です。</p>
守泉委員長	<p>大日方委員はいかがでしたか、</p>
大日方委員	<p>全く同じことを考えていました。私も S で良かったとっていて、具体的に言うと、利用者ニーズの把握がかなり優れているなというところと、利用者支援の取組というところも評価に値するのではないかと、というところで、一次評価の観点で従うと 4 点ぐらい上がるのだなと考えると S になるかな、というふうに思いましたが、残りと比較をしたいなと思ったので A よりも S かなと思いました。あとは、駐車場の利用状況の発信とかというのは SNS で行われている、というのは立地においては極めて重要なことだろうと言えますので、こういった取組もすごく良いところとして、評価すべきところに加えられるというのがありました。</p>
守泉委員長	<p>この団体がもともとここを取った最初の時に味スタを管理しているので、そことの融合ということで、自分たちが独自にできるものがあるのだ、ということ強調されていたんですね。それがかなりの部分、今回のお話でもそれを含めてこうだというのが出てきたのですけれども、私は個人的にこれ A にしたというのは、これはもうじき S にできるなとは思いつつ、そこの部分をもう一つ強調してほしかったというのと。やはり地域で高齢化が始まっている中でもう一つプラスのところで行くと、例えば今一番新しい中だと、障害者の雇用支援の団体とかあいうところの NPO 法人に障害者に e スポーツをやらせてそ新しい道を開こうという動きが最近あって、シンポジウムとか開いているのですが、あとは北欧では e スポーツで 60 歳以上の人しか入れないプロスポーツがあるんですね。そういうようなところもあるのでここ独自のものをもう一つ出してもらいたいな。それが出たら S にしたいな、というふうに僕は思っていたのですが、ここまでよく頑張ってきたというのがあるので。</p>
小宮山課長	<p>最後の全体整理の時間というのは多少いただいています、そちらでの判断という可能性もございますでしょうか。</p>
石黒委員	<p>一旦 S として、もしカヌー・スラロームセンターとの比較で S つけたら甘いな、というような話になったら。</p>

小宮山課長	一旦ここで評価いただくというのがありがたいです。
守泉委員長	S でもいいと思う方は、手を挙げていただけますと。(委員 4 名が挙手) いうことで、本来であれば、ちょっと早いかもしれないですけど、辛口のまた注文をつけた上で今回は S という形にさせていただきたいと思います。ありがとうございました。
小宮山課長	ありがとうございました。

エ：【東京都パラスポーツトレーニングセンター】指定管理者によるプレゼン、質疑

発言者	内容
小宮山課長	東京都パラスポーツトレーニングセンターの指定管理者からのプレゼンテーションということでお願いします。
事務局	それでは指定管理者によるプレゼンテーションです。プレゼンの時間は 10 分間。時間厳守でお願いいたします。プレゼンの後に質疑の時間を 5 分残っておりますので、よろしくお願ひいたします。プレゼンにつきましては、残り 3 分のところでベルを 1 度鳴らします。また、10 分経ちましたらベルを 2 度鳴らしますので、その時点で終了とさせていただきます。それではよろしくお願ひいたします。
施設職員	<p>ではよろしくお願ひいたします。東京都パラスポーツトレーニングセンターでございます。昨年 3 月 21 日、令和 4 年度になります、都が 3 月 21 日にオープニングセレモニーを実施いたしまして 1 年と 4 ヶ月ほど経ったところでございます。</p> <p>令和 5 年度の管理運営状況について説明を申し上げます。職員の接遇対応では、新規職員の研修項目として接遇を設けているほか、適宜外部研修もしくは OJT 形式で研修を実施しております。令和 5 年度利用者アンケート職員の対応に該当する項目では個人利用において十分満足していると満足しているを合わせて 88.2%、団体利用においては十分満足していると満足しているを合わせて 96.5% の評価をいただいております。引き続き令和 6 年度も各職員層に応じて接遇検証を実施していくなど、適切な対応を心掛けていこうと思っております。</p> <p>施設の利用調整では令和 5 年度は東京都スポーツ施設予約システムが未導入であったため、電話、メール、ファックス、窓口での案内等の中で施設台帳を作成の上、利用する方々にその都度説明をしながら施設利用の調整をし、問題なく対応することができております。利用調整に当たっては、対象団体を区分 1、競技団体区分 2、パラスポーツ活動団体区分 3、その他の登録団体に区分分けて利用調整を行っております。令和 5 年度において施設の利用調整について利用団体への理解が浸透したことから、令和 6 年度から導入している今年度から導入しております。東京都スポーツ施設予約システムへの移行をスムーズに図ることができております。令和 6 年度については、引き続き東京都スポーツ施設予約システムの操作説明会を実施していくなど、予約方法の変更に伴う混乱が生じないように対応してまいりたいと思っております。</p> <p>事業効果に移りまして、利用状況、団体利用状況について。令和 4 年度は開設し 9 日間の開館状況のため増減が比較はできませんが、トレーニング室の個人利用者数は延べ 1,801 人、各施設の団体利用者数は 12,492 人でした。特に一番広い体育室、バスケットボールの一面ほどあります。体育室の稼働率は 4</p>

月が 23.2%でございましたが、3月は 66.7%まで上がっており、土曜、日曜、祝日は抽選を行うことが多くなるなど、継続的な利用ニーズが高かったことが伺えます。令和 5 年度は競技団体の拠点と継続的な活動を促進するため、障害当事者の競技団体、クラブを中心に周知を行ってまいりましたが、令和 6 年度は、広く障害がない方々への周知を拡大し、定期的な稼働率を高めていくなど利用拡大を図っていこうかと思っております。

事業の取り組み、効果的な事業の実施となります。一つ目は、スポーツ振興事業として競技力向上事業を実施し、パラアスリートを対象にトレーニングや栄養に関する内容を提供しております。本事業への参加をきっかけに、継続的にトレーニングに取り組むことができるようになった方もおられ、事業実施による効果と捉えております。普及振興事業としては、障害のある方を対象としたスポーツ体験、障害のあるなしに関わらず参加できるパラスポーツ体験、関係団体と連携しながらのパラスポーツ体験事業を 16 事業計 32 回実施いたしました。今後も普及振興の柱として実施し、都民を中心とした多くの方々の参加を得られるよう取り組んでまいりたいと思います。また、パラアスリートの競技力向上にあたっては、今後も内容の充実を図りながら、事業を継続し、参加から利用の継続、定着へとつながるよう取り組んでいきたいと思っております。

2 つ目は自主事業となり、パッケージプランは施設を利用しながら見学や座学、実技の提供を同時に行うことで、パラスポーツに関する企業、団体、学校等のニーズに適切に応えることができる企業である、との手応えを感じております。合宿プランのトライアルは管理運営基準として優先予約がないことから、指定管理者としてパラスポーツ競技団体の意向に沿う形で合宿などが実現、実施できるようニーズを確認いたしました。令和 6 年度から正式に実施を予定ですので、検討する上で大変有意義なものとなりました。

3 つ目はサービス事業、団体エリア開設事業となります。パラスポーツは特殊用具も多いこと、また専用利用としての定着ができている団体の要望に応える形で、ビジネス等を扱うサービスとして、エリア貸しということを実施しております。今後もこのような要望に対して応えていけるよう工夫をしていこうと思っております。

4 つ目のスポーツの日記念事業は、実施当日は雨天により参加者数は伸びませんでしたが、延べ 488 人の方にパラスポーツ再現の機会を提供いたしました。また、次年度以降にどのような方法で取り組むと、より参加者を集めることができるかを知る機会となりました。令和 6 年度については味の素スタジアム・武蔵野上総合プラザとの連携をより強くし、準備段階からお互いの意見交換をしつつ参加者を増やすことや、パラスポーツの魅力を伝えられるコンテンツが充実するよう準備、そして実施していこうと思っております。

	<p>サービス向上に向けた取り組みでは、これまで培ってきた障害者専用スポーツ施設での実績と経験を生かし、車椅子利用者が利用しやすい環境を整えているほか、トレーニング室のマシンについて視覚障害者が使いやすいようにテープを貼るなど、多種多様な利用者に応じた環境を整備しております。</p> <p>都の施策への協力等では、18施設の連携強化を図っている中で、令和5年度は2025年のデフリンピック大会エンブレムを選ぼう。中高生によるエンブレムデザイン投票、グループワーク発表イベントやパラスポーツの振興とバリアフリー推進に向けた懇談会などに協力し、パラスポーツの周知への協力と施設周知の一環として東京都にも協力することができております。また、スポーツ施設周遊バスツアーへの協力や、東京スポーツ施設コンシェルジュのお問い合わせに丁寧な対応を行っております。今後も東京都や他施設との連携を深めつつ、当施設としての特性を周知していけるようにしたいと思っております。以上となります。</p>
小宮山課長	<p>どうもありがとうございました。ただいまのプレゼンテーション及び施設の運営等につきまして、委員の皆様方にご質問がございましたら、5分程度、お時間いただきますので、よろしく願いいたします。丸山委員よろしく願いします。</p>
丸山委員	<p>まずは6月28日、施設見学をさせていただき、ありがとうございました。利用者の要望を生かして施設の運営をされているとこの前伺ったので、私質問として利用者に喜ばれている事例と、それから改善してほしい事例がありますかというふうにご質問をさせていただいたら、非常に丁寧にお答えいただきありがとうございます。もしこの場でまた追加したりすることがありましたら、どうぞお願いいたします。</p>
施設職員	<p>細かいところにもなるのですが、今大変熱い中で製氷器がないかということをや、やはり指摘を受けることがありました。実際には、緊急のものは冷蔵庫の方で、私たちの方もある程度の準備をしているのですが、ご自身たちが取れる位置にというようなところに関してはまだです。実施をしていこうというふうには考えているところです。</p>
石黒委員	<p>パラスポーツの特に競技力向上の象徴的な施設ということになるかと思うのですが、パラリンピックに向けての取り組みって何かやられていたりしますか。誰向けでも構わないですけど、</p>
施設職員	<p>ここに集中しての事業展開ということは特段行なってはいないのですが、やはり競技団体で例えばですけども、パラパワーリフティングの団体様にご利用になることが多くて、そちらの団体の皆様が練習をする環境の上で、時には4台、台を置かせていただいて、効率よく練習をしたい、ということだったので、パリに向けて、もしくはロサンゼルスに向けてより練習を厳しくしていくためにも台の追加をお願いしたいということでは言われていますので、そういったも</p>

	<p>のに関しては私たちとしても従来の対応をしながらやっていきたいな、というふうに思っています。</p>
大日方委員	<p>非常に新しい取組なので、試合錯誤されながらやってらっしゃるかな、と思いますが競技団体等でクロストレーニング、他の競技にも取り組むということが増えているのですが、そういった利用例というのはありますでしょうか。</p>
施設職員	<p>現時点では見受けられないかなと思います。ただ競技団体様の中でも個別に競技力向上の中でトレーニング方法だったりされている団体様が多くはいるのかなと思うのですが、いわゆる次世代と言われていているような方が、私たちが実施している競技力向上の講習会というか、トレーニング方法だったりをされている事業にご参加いただきたいということがあったりもしますので、クロスということではない。競技の重なりということではないのですけれども、いわゆる次世代的などころに関しても、そういうような実際には増えてきているという印象はあります。</p>
大日方委員	<p>ありがとうございます。今後いろんなスポーツに取り組むことで競技力が上がるというような形になってきた時にも、やはりパラスポーツ特有の用具といったものが使える。例えば足に障害がある人が、例えばスキーなんかだと当然、競技団体や選手はスキーを持っているのですけれども、スポーツ用の車椅子で走り込みができるかとなると、そこに関してはない。けれども、クロストレーニングでできることがあるといいな、というようなものもありますので、そういったパラスポーツの用具も備品として置くのもいいのかなと思います。もう1点はトップアスリートだけではなくて、今、選手たちに重要になっているのが、トレーニングとともに休息であるとか、回復という視点。例えばトレーナーが一緒に行く場合、トレーニングした後に製氷器は必要だなと思いますし、その後の疲労回復のためにマッサージを受けたりとかという、そういったスペースというのがありましたでしょうか。</p>
施設職員	<p>団体予約となってくるので、どこかの施設を借りていただく、というような条件にはなるのですけれども、特設施設のほうでは用途を限定しないようにはしていますので、例えば集会室でそういうことをしたい。例えば台を持って行って、そこをケア室にしたいということであれば、そこは団体様の自由に対応できるようにはなっています。それ以外で、本来でいえば、例えばサウンドテーブルテニスのスペースというふうに、私たちはそこで使っていただきたいなと思いつつも、ケアであれば一対一でトレーナーとしているというようなお話があれば、私たちは、その台を外してそういった形での運用ができるようになりますので、団体様からのご要望があれば柔軟に、というふうに思っています。</p>
大日方委員	<p>例えばトレーナーベッドでありますとか、治療に使える、ちょっと持ち込むの</p>

	には大きすぎる、というようなものも検討していただくですか。今のような使い方というの、競技団体は、まず見てもらわないとなかなかアイデアが出てきませんので、その方々に利用を促す、こんな使い方もあるよというようなことで、発信をしていただけるといいのかなと思います。
小海委員	利用の仕方ですが、個人利用はトレーニングだけですか。他は個人では使えないのですか、理由は。
施設職員	管理運営の基準です。
小海委員	何らかの団体という形で登録をすると、例えば人数が少なくても使えるみたいな。
施設職員	各室場で、5人以上とか3人以上、という形にさせていただいていますので、そこまで団体ですごい人数を集めないといけないかということに関してはある程度普通の案内はできるのかな、というふうには思っています。
守泉委員長	1点だけ大日方委員のお話にちょっと追加で、私もまだいろんなホームページとかの確認が得られていないのですが、今例えばロボットのプロの自転車競技の団体は、自分たちの競技の後の機能の回復に関してもかなり独特のいろいろなノウハウが蓄積されていて、彼らからすれば乳酸は悪じゃないと、それはいろいろな転嫁できるのだ、といういろいろなノウハウを持っているようなのですよね。そういうようなものも、パラスポーツの方たちに適応できないのかなというのは今思っているところがあるのですよね。ああいうようなハードなスポーツの中の何かの部分をうまくやっていると、パラで有効なものもあるかもしれないので、せっかくこういう独自の施設なので、いろんな独自のものを研究して、こうやりましたみたいなものを出していただけるとありがたいなと思います。よろしく願いします。
小宮山課長	どうもありがとうございました。

エ：【東京都パラスポーツトレーニングセンター】二次評価の審議

小宮山課長	<p>それでは、審議ということで、進行を委員長にお願いできればと思います。守泉委員長、お願いいたします。</p>
守泉委員長	<p>それでは東京都パラスポーツセンターの二次評価につきまして、事務局より説明をお願いします。</p>
小宮山課長	<p>利用者が安全で快適に利用できるよう、水準どおり適正な管理が行われている点、また、マニュアルの関係など、利用者の安全性に関わる部分についてはしっかり対応すべきという点、また施設の認知度向上のために今後期待したいというようなことですか、利用者数は増えてきているので、今後も努力を受け続けていく、というようなことについてコメントを頂いています。</p>
守泉委員長	<p>それでは、東京都パラスポーツトレーニングセンターの評価について。これは比較的短い時間で調整できると思います。委員の皆様、ご審議の方に、よろしくお願いいたします。まず評価の部分なのですが、今回全員が B 評価ということになっておりますので、一次評価どおりという形ではいいと思うのですが、それ以外に何かご意見とか、ご希望とか、何か追加するべき点があればお聞かせいただきたいのですが、ございますでしょうか</p>
石黒委員	<p>はい、私もホームページを拝見していたのですが、ホームページで指定管理者さんが作っているのでしたっけ、もうちょっと何とかしていただきたいです。どういうシステムか、知らない方が多い状況の中でこのホームページだと何ができるのかまずわからなくて、どういう人が使えるのかもわからないので、情報発信とか利用の促進という観点ではかなり大事なところだと思うので、そこはぜひ改善事項で入れていただければと思います。Xの方ではいろいろ発信されているようなのですが、やっぱり全員が全員見ているわけじゃなくて。多分最初に調べるとき皆さんホームページ見ると思うのでそこはお願いできればと思います。</p>
守泉委員長	<p>はい。ご意見の通り、改善が望まれる点です。他に何かございますでしょうか。</p> <p>私の方から 1 点だけ先ほどの話でもあったように、個人利用でいくとトレーニングしかまだできないというところで、今後ある程度広がるという意味と、それから暑い中で大変だとか体温調整の問題があるにせよ、屋外のスポーツとして一つ、障害者の方にもできるようなところを考えると、今後取り組むべきところで屋外スポーツの一つとしてペタンクを広く進めていただきたい、こういうものを出張教室という形でやっていただくと、屋外でポッチャと同じようなことができるという。ですから、そういうものを通じて何かもう少しポッチャ競技の裾野を広げていただければありがたいので、私の要望としては、今後取り組むべき点のところにそれを加えていただければと思います。他、よろしいですか。</p>

大日方委員	<p>多分、パラススポーツトレーニングセンターの機能の位置づけというのが論点になるのだろうと思うのですが、昨日の障害者スポーツセンターとはあえて違う位置づけにしたいのだ、ということであると、パラトレセンではどこまでやるべきものかとか、利用者をどう広げていくのかというところは、確かに少し分かりにくいです。競技団体の私たちもほぼ情報が取れていないので、まだ現場には落ちてきていないですけど、ちょっとずつ広がっているのは確かです。そういったタイミングで私は施設を見せていただいたので、もうちょっとやっぱり備品の充実が重要かなと思っています。パラススポーツ特有のものというのは結構あるので、これを持ってきてください、となると、スキーの道具も持って、自分の車椅子のほかにスポーツ用の車椅子も用意してきて、そこでトレーニングしてください、というのもほぼ無理なので、貸し出しができる備品を増やしていくというのがいいかなと思います。</p> <p>もう一つ、ちょっと今懸念したのは、外で確かにやりたいのですが、なかなか温度管理も調整が難しい方も多く、重度になるほど外での活動というのが難しいので、それがどういうふうに競技力向上という視点につなげられるのかというところは、指定管理の人たちが非常にノウハウもあるはずなので、そこを生かして行って今後に期待したい。競技をペタンクとか何々って言うよりは、広げていくという方向で、今後取り組んでいくというような視点だといいいのかなと思います。</p>
守泉委員長	<p>はい、広げていくということで、と思います。他何かございますか。では、ご意見はないようですので、以上で終わります。</p>
小宮山課長	<p>それではこれをもちまして午前中の審議は終了となります。ありがとうございました。</p>

オ：【夢の島公園アーチェリー場】指定管理者によるプレゼン、質疑

発言者	内容
小宮山課長	<p>それでは、夢の島公園アーチェリー場の指定管理者によるプレゼンテーション、質疑及び評価の審議を行います。</p>
事務局	<p>それでは指定管理者によるプレゼンテーションになります。プレゼント時間は10分間。時間厳守でお願いいたします。プレゼンの後に質疑の時間を5分ほどとっておりますので、よろしくをお願いいたします。プレゼンにつきましては、残り3分のところでベルを1度鳴らします。また、10分経ちましたらベルを2度鳴らしますので、その時点で終了となります。それではよろしくをお願いいたします。</p>
施設職員	<p>はじめまして、夢の島公園アーチェリー場の責任者の上田と申します。よろしくをお願いいたします。それではご案内の関連の状況ということでご説明をさせていただきますと思います。</p> <p>まず、設備の定期整備ということで、まずアーチェリー場の方なのですけれども、当然一般の芝地になっておりまして、そういうスペースにもなっておりますので、夏場でございますと、大体4月、5月ぐらいから11月中旬まで芝がかなり生えてくるという状況になりまして、それを定期的に育てながら、芝刈り等のメンテナンスを行っております。特に大会運営に関しまして、大会の方は、なかなか的を置いたりとか、選手が矢を取りに行ったりとかそういうので支障をきたすということで、試合前には刈るというような作業を行っております。また、全日本の大会ですと、その先に大きい大会が控えておりまして選手の成績にも影響するというので、早朝試合前に芝を刈ったりとかそういった作業を行うようにさせていただきます。その辺に大会運営と協力しまして、順調に試合の方は運営できるような形となっております。</p> <p>続きまして、修理・修繕ということでこちらの方は定期的にチェックとか見回りはしているのですけれども、日差しの屋根状のところがあるのですけれども、雨溜まりのところが多くなりまして、ここの方は高圧洗浄しまして詰まりを防いだりとか、あと水飲み場の水栓の破損がありましたので、そこの方も交換という形を取らせていただいております。定期的にはこちらの方も見ながら、修理・修繕は行ってさせていただきます。比較的まだ新しい施設ということではあります。今後そういった不具合等が出てくるので、定期的にはその辺を強化しながらやっていきたいと思っております。</p> <p>施設の提供について適切な管理の方ということでございます。こちらの方は、アーチェリー団体が主になるのですけれども、全日本アーチェリー連盟、東京都アーチェリー協会、関東学生アーチェリー連盟、東京都高校体育連盟。あとはアーチェリーではないのですけれども、日本フライングディスク協会とか東京フラ</p>

イングディスク協会による各団体の準備運用に関しまして、会場の要望など維持に努めてご利用していただくように提供させていただきました。あとは一般共有となりまして、実習授業の展開やその他のスポーツなども誘致を行うようにさせていただきます。

自主事業の中では、他のスポーツに関しましてはフライングディスクですね。フライングディスクは結構利用しやすいということで、サッカーとかそういったものだとスパイクだったり、そういったものを使用になってしまうのでちょっとできないのですけれども、フライングディスクはご利用しやすいということでご利用いただいております。

あとちょっと変わったところなのですけれども、西洋甲冑といいまして甲冑鎧を着たスポーツがありまして、それを普段ですと狭い空間でやられているのですけれども、それを大きいところで試合形式でやりたいという要望がありまして、鎧を着て、鎧とかそういったものはソフトな感じなのですけれども、それを戦いながら倒していくというようなスポーツなのですけれども、私も初めて見たのですけれども、かなり近場でやっていると迫力があって今年度もご予約が入っているのですけれども、今後これを定期的に広めていけば使っただけのかな、というようなことをございます。

あとは4月1日のエイプリルドリームという大型イベントも誘致できまして、夢の島で夢を語るというような発信系のイベントだったのですけれども、大型イベントが誘致できまして、大型スクリーンにドリカムさんなんかを放映されまして、全国に発信したというような流れになります。ネットのほうが強かったので参加者数はそれほど多くはなかったのですけれども、100名ほどぐらいの感じで、夢の島の利用の仕方ということではかなりアピールできたのではないかなとは思っております。

そして、設備の清掃ということですね。清掃作業等は日々巡回点検しまして、清掃活動は行っております。毎日の点検でゴミや忘れ物の目視を行っております。朝と夕方、私の方も清掃作業委員のほかにも私どもも巡回しております。夕方ちょっと宿泊しそうな方がいらっしゃいましたら宿泊できないように伝えたりとか、喫煙ができませんので、喫煙のご遠慮ですとかその辺を促しながら対応しております。夏場になりますと、なかなか夜間でお煙草吸いになる方が結構多いので、その辺の方を注意しながら清掃して、大会があるときには吸い殻が落ちてなかったりとか、ゴミがあつたりとかそういうのはないようにさせていただきます。

続きまして安全性の確保ということでご存知の通り、アーチェリーというのはすごく危険なスポーツになりますので、アーチェリーを使っていないときは一般の芝地ということで共用するというので、一般の人たちが入らないように、一

	<p>応試合時は鎖をしまして閉鎖をしまして、安全管理は徹底している、というような状況になります。</p> <p>競技団体の方にも、目立つものを着用していただきながら使っております。裏山の方に監視員がつきまして、安全確認はきちんと取りながら運営させていただく、というような状況になります。</p> <p>あとは防災訓練ということで12月18日に公園・植物館で防災訓練を行いました。消火器によりまして消火訓練を行った次第でございます。</p> <p>あとは、都への報告等の災害と台風などの報告はさせていただいております</p> <p>自主事業の活動状況ということで、5月13日夜学教室、10月9日、スポーツの日記念イベント、こちらの方はちょっと雨で中止になってしましまして。あと11月23日、コンサートということで、こちらの方は参加者50名ほどいただきまして初の試みで、コンサートもやらせていただきました17名来ていただきまして、皆さん良かったというような評判がいただいておりますので、今後またそのコンサートなんかもどんどん取りに行っていきたいと思っております。</p> <p>あとはフォトウェディングということで、12月11日、フォトウェディングの撮影会ということで、こちらの方も初めてやらせていただくので、こういったイベントも今回、植物園の方も共同だったのですがね。記念のそういった行事にやらせていただきたいと思っております。</p> <p>あと、パラスポーツ体験会ということで、アーチェリーとブラインドサッカーを一緒にさせていただきました。こちらの方も40名ほど参加をいただきました。あと、3月20日にツリークライミングというのをやりまして、これも初めてだったのですが、以前、植物館の中の木を登るようなスタイルでしてはいたのですが、外の本当の木で登るというような感じで、こちらの方も28名参加いただきましてかなり好評で終わりました。また、これも引き続き展開していきたいなと思っております。</p> <p>あと、3月31日、フライングディスク体験会とかけっこ教室を開催させていただきました。こちら23名ということで、かけっこ教室は初めてやらせていただいたのですが、江東区の陸上競技場の方でずっと職員をやっていた方がかけっこ教室をやっているということで、その方をお願いしまして、地域のお子さんたちを含めまして、かけっこ教室をやらせていただいたという形になります。やはり、かけっこ教室は人気で、今後も引き続きそういった授業は進めていきたいなと思っております。</p> <p>こちらの方に、PDFの詳細なものはご提出しておりますので、そちらの方からご覧いただければと思います。コンサートの詳細なのですが、最初はクラシック系のコンサートをやったところでした。ありがとうございました。</p>
高島部長	ありがとうございます。ただいまのプレゼンテーションや説明につきまして

	て、委員の皆様よりご質問がありましたら、5分程度でご発言をお願いいたします。
丸山委員	一度だけ施設を見せていただいたのですが、芝生が非常にきれいに整備されていて、それである芝生は、かなりアーチェリーじゃない、他のスポーツ競技にも使えるなと思ったのです。今、お聞きしたらフラインディスクは大会をされているのですか。日本フラインディスク協会。
施設職員	ほぼ練習ですね。日本代表の方たちの練習というのを。
丸山委員	そうですか。使った後の要望とか、そういうの何かありますか、特になかった。
施設職員	そうですね。主要どころにもうちょっと入りたいようなご要望があるのですが、アーチェリーの方が週末埋まっているもので、だからそのスケジュールを縫いながら入るといのにちょっとご苦労されているようなので、空いているときはご案内しています、というような閑散期なんかはご案内させていただいて、今後もうちょっと使っていただけるといいな、というようなことがございます。ありがとうございます。
大日方委員	先ほどのご説明の中でなかなか芝を傷つけるので、サッカーとかは利用できないということがありますけれども、ブランドサッカーの体験会を開催していただいています。けれどもその辺りは問題がなかったのかという。
施設職員	そうですね。スパイク等は使用しない。普通の靴でご利用いただいて、激しい大人がやるようなサッカーという感じではないので、体験会ではありますのでその分は問題なく、普通の運動靴であれば問題ないかな、という感じではあります。ありがとうございました。
高島部長	ほかに質問をお願いします。
小海委員	先ほどご説明いただいた内容と重なるのですけれども、今ホームページで予約状況を見ているのですけれども、土日が結構埋まっているのはほぼアーチェリーですね。平日がほぼ空いているのですけれども、平日でも入っているところはいくつかあるじゃないですか。それもアーチェリーですか。
施設職員	アーチェリーではないですね。何かの撮影だったりですとか、そういったものが入っております。
小海委員	ちなみに、夏休み予約入っているのですか。
施設職員	そうですね。夏休みはごめんなさい、アーチェリーも入っております。夏休みは平日も入っています。
小海委員	やはり、施設の特徴というか、アーチェリー以外の方をどう入れるかというのがすごい課題だと思うのですけれども、いくつか努力されているのですけれども、なかなかそこはやはり埋めないと、という感じでしょうか。それとも。
施設職員	今期なのですけれども、ボールパークさんというのが開催されてまして教室なの

	<p>ですけれども、子どもたちにサッカーとラグビーとハンドボールというような形の3つの種目をプロの選手の方が教えるというような授業がありまして、それを開催させていただいたのですけれども、今お話を進めておりまして、平日に教室を開催できるというような話を今進めております。</p> <p>なので、平日の空いているところに、お子さんの教室を入れられるように準備をしておりますので、若干ではあるのですけれども、平日のご利用、少しそこで増えてくるのかな、というふうな見込みをつけています。そういったお話もあれば、どんどんお応えをして平日のご利用を増やしていきたいと思っております。</p>
小海委員	<p>昨年度のいくつかやられた、例えば自主事業とかは全部単発でやられたということですよ。</p>
施設職員	<p>そうですね。午後5時からとかそうですね。毎週入れる。ちょっと回数、まだこれからお打ち合わせ中なのですけれども、そういった形で定期的に入れられるような話を進めているという状況になります。</p>
小海委員	<p>あと、もう一点これじゃなくて、どれにいったのかな、前にいただいた指定管理者の提案ですかね。改善が望まれる取組状況で夏場とか冬場はやっぱり環境が厳しいので、そういうのは避けて、気候が良い時期で、はい、これわかるのですけど、今のこの状況だと夏場がどれくらい長くなるかわかんないので、何かその辺、逆に夏場でもできる工夫みたいなことは考えるでしょうか。</p>
施設職員	<p>そうですね。ちょっと7月25日にフライングディスクの体験会をやったのですけれども、やっぱり予想以上に暑すぎましてですね。気候の良い時期、の判断が変わってきているなという感じがあります。なので、あまり9月の後半ぐらいまでは、自主事業であったり、スポーツ系のイベントはちょっと危険だなというような感じで、しておりません。逆に、もうちょっと涼しい時期に使えるような工夫をしていきたいな、というふうな感じではあります。ちょっとあまりにもちょっと気温が高いので、その辺は利用者の健康とか考えながら配慮していきたいな、というふうには考えています。</p>
小海委員	<p>基本的には、今条件が悪いと外に出ないでとかそういうのが言われるのですけど、それでもできるようなちょっとした工夫とか、例えば日よけを準備するとか、水をうまくシャワーじゃないですけど、そういうのがあるとか、ミストがあるとかっていうのはまだされていない。</p>
施設職員	<p>そこまでは難しい、まだそうですねしていません。</p>
小海委員	<p>はいわかりました。</p>
大日方委員	<p>もう一つよろしいでしょうか。今のお話の中で、撮影とかが平日入っていると</p>

	<p>いがあると思うのですが、ロケで使われているということだと思いますが、そのお客さんはどのくらいと使われているのかとか、それを誘致するようなご案内であるとかサービスをしていたり、ということもありますか。</p>
施設職員	<p>ご案内をかけたとかユニークベニューだったりとか、あとはご案内をかけていただいて、一応撮影のお話は何件かお話をさせていただいているのですが、全てが成約には結びつかないのですが、テレビの制作会社では定期的に使っていただけたところがございます、その撮影で定期的にご利用いただいているような形です。そこを上げながらテレビ局の方とか制作会社の方にどうですかという話はやっているのですが、時間が足りなかったり、夜間撮影したいですとかそういうお話が多かったりするのですが、成約に行かないケースがあるのですが、定期的にお話をいただきながら、スポット的に入って撮影はしていただいて、再現ドラマですかね。再現ドラマの撮影でよく使っていただいておりますね。</p> <p>あとは、芝生とかがきれいなので商品の撮影だったり、イメージ写真でご利用いただいている方はぽつぽつございますね。</p>
高島部長	<p>他に、いかがでしょうか、よろしいでしょうか。他に質問等はないようございますので、以上としまして審議に入りたいと思います。夢の島公園アーチェリー場の皆様、ありがとうございました。</p>

オ：【夢の島公園アーチェリー場】二次評価の審議

高島部長	審議の進行は委員長に交代させていただきます。守泉委員長よろしくお願いたします。
守泉委員長	それでは夢の島公園アーチェリー場の二次評価につきまして、事務局より説明をお願いします。
小宮山課長	それぞれの委員の皆様からコメントをいただきました。事業計画に沿って評価基準通り適正な管理を行っている。また、芝生を活かしたニュースポーツなどの発信、利用も進めている。アンケート調査で安全管理にやや不満が50%とあるので状況の確認が必要。周辺連携事業によって一層知名度が上がっている。多様なイベントプログラムを企画している。このようなコメントをいただいています。
守泉委員長	<p>はいありがとうございました。それでは夢の島公園アーチェリー場の評価につきまして、5分程度で調節をさせていただきます。</p> <p>委員の皆様、ご審議の方よろしくお願いたします。まず評価ですが、夢の島公園アーチェリー場につきましては、全員がB評価となっております。評価の調整という点では、Bという形で一次評価のままということで結構かと思うのですが、記載内容等につきまして何かご意見があれば、いらっしゃいますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか、はいありがとうございます。</p> <p>では、評価に関しては一次評価と同じBですので、二次評価という形でさせていただきます。進行を事務局にお戻しさせていただきます。</p>

カ：【カヌー・スラロームセンター】指定管理者によるプレゼン、質疑

発言者	内容
高島部長	<p>続きまして、カヌー・スラロームセンターの指定管理者によります。プレゼンテーション、質疑及び二次評価の審議を行いたいと思います。</p>
事務局	<p>それでは、指定管理者によるプレゼンテーションです。プレゼンの時間は10分間時間厳守でお願いいたします。プレゼンの後に、質疑の時間を5分ほどとっておりますので、よろしくお願いいたします。プレゼンにつきましては、残り3分のところでベルを一度鳴らします。10分経ちましたらベルを二度鳴らしますので、その時点で終了とさせていただきます。それではよろしくお願いいたします。</p>
施設職員	<p>よろしくお願いいたします。株式会社共栄の金子と申します。限られた時間ですので、抜粋してご説明いたします。</p> <p>はじめに施設設備の保守点検についてご説明いたします。カヌー・スラロームセンターでは年に一度1月から3月中旬の期間に閑水期を設けており、令和5年度は用水ポンプの引き上げ整備再設置という施設改設後初の大きな整備工事がありました。都の担当者様は施工業者と協議をし、日常の運営に極力支障が出ないよう早朝対応など柔軟に対応するとともに、他の設備の点検業者などと綿密に一定調整をし、期間内に事故なく無事に作業を終えることができました。</p> <p>その他の点検については、毎月実施している水中ポンプの絶縁測定ですが、これらはコースの流れを作るポンプであることから重要な点検の一つとなります。これまではノイズを受けた状態での計測を行っていましたが、電気主任技術者と打ち合わせを行い、フィルターを介すことによってより正確な測定ができるようになりました。</p> <p>次に、水上競技施設の維持管理についてご説明いたします。プール水のろ過効果を高めるため、細かいごみを固める凝集剤を注入しておりますが、自動制御に頼るのではなく、管理実績で得た必要量を計画的に投入することで高い透明度を保つことができました。反面、汚れの補足能力が上がり、ろ過機の逆旋回数が増えることから効率運転も考慮し、今後の管理方法については継続検討を行っております。また、日頃からスタッフ間でトランシーバーを使用して連絡を取り、コース利用者の状況に応じて最小限のポンプ稼働を行い、電気使用量の縮減に取り組みました。水量についても、数日先の天候を確認し、雨水を利用することで注水量の可能な限りの抑制を努めました。</p> <p>次に、施設の提供についてご説明いたします。まず、団体利用については、令和5年度は10月にスラローム競技のアジア選手権が開催され、事前に主催者と協議を行い、海外選手たちが事前練習で平等にコース利用ができるよう自主事業で競技コースの利用を提供いたしました。</p>

また、艇庫利用も海外から艇を運搬するため、受取時間や支払い方法なども柔軟対応を行いました。また、利用方法や料金などを分かりやすく示したロケーション資料を作成し、様々な利用ニーズに応えました。これまでの広報活動と合わせ、テレビ局や雑誌社などの問い合わせも増え、件数としては令和4年度16件に対して令和5年度40件となりました。

次に、個人利用についてですが、夏の暑さ対策として、コース脇から散水を行い水浴びができる場所を作りました。こちらは散水した水が無駄にならないよコースの給水も兼ねた場所に設置し、中洲エリアにはテントも設置しました。また、水上施設以外の活用として、葛西臨海公園など近隣ではランニングやジョギングをする方が多いことから、ランニングステーションとして更衣室、ロッカー、シャワーの提供を開始しました。

次に、安全確保についてご説明いたします。競技コース利用者の安全確保を目的として、沈没者や漂流物を救助・回収する場所と、沈没者が自力で上陸できるポイントを増やすため、コース内にあるオブスタクルの追加と配置の変更を行いました。

防災への配慮・緊急時対策のご説明をいたします。引き続き気象ウェブサービスの契約を継続し、急な雷や豪雨などの天候状況を事前に把握し、現場の天候状況だけではなくデータを参考にしながら競技室利用の一次中断や利用停止といった判断を行い、利用者へ安全に利用いただけるよう案内を行いました。また、施設で東京消防庁様が主催で行った防災フェアのプログラムで、防災講座の一部に協力し、防災への広報活動に参加しました。

事業の取り組みについてご説明いたします。人気のあるラフティングツアーについては、ニーズに応え計画の115回に対し9回増の124回実施しました。また、新規授業として陸域を活用したイベント、バンタウンというキャンプイベントを行いました。2,693名が来場し、陸域の活用という新たな施設の利用価値を見出すことができました。

次に競技普及のため自主開催している競技大会。東京パドリングゲームスでは新しくクロスレース部門を追加して開催いたしました。こちらは競技団体と連携し、パリ五輪から正式種目となったカヤッククロスとサップクロスの2種目を追加しました。開催時はまだ国内では公式レースが行われなかったのですが、選手や愛好家の要望により開催し、レース参加の機会を提供することができました。

周辺連携のご説明をいたします。葛西臨海公園内の回遊の促進として、葛西臨海公園と海浜公園との連携でバーベキュー場とのラフティングツアー、手ぶらバーベキューのセットプランを販売しました。通常販売されているバーベキュープランよりお得な内容とし、ラフティングツアーの付加価値を高めるとともに葛西臨海公園エリアの滞在時間を延ばし、お客様の満足度を高めることができました。

	<p>た。また、公園の観覧車とは半券持参での連携割引を実施し、現在は葛西臨海水族園とも連携を行っております。</p> <p>地元区との連携としては、江戸川区の事業、羽根田卓也杯について、開催協力をし、並行して水上遊具を実施して盛り上げるなど連携を取りながら実施しました。</p> <p>次に、利用者促進への取り組みとしましては、地元への認知度拡大向上のために、地元広報誌への有料広告を掲載のほか、地元の大型ショッピングセンターでのPRイベントを行いました。さらに、地元情報ウェブサイトのマイプレ江戸パークと契約をし、地元への情報発信を強化しました。</p> <p>また、団体ツアーの誘致活動として、団体向けプログラムのパンフレットを作成し、全国500校の中学校、高等学校にダイレクトメールで送付しました。その後、直接学校や旅行会社などからご要約申し込みをいただいております。学校からの申し込みの場合は、例年の業種として利用が見込めますので、満足いただけるサービスの提供に努めております。</p> <p>その他の取り組みとしましては、水難事故への取り組みを行っております。スポーツ庁委託事業の令和の日本型学校体育構築支援事業で、学校における水難事故防止対策の強化の開催を支援しており、安全に体験活動ができる人工コースという特性を生かし、主催の日本ライフセービング協会とともに開催に向けた各種調整を行いました。その際は江戸川区の小学生を対象に開催し、2校の児童にご参加いただきました。プログラムの様子はテレビ放映されるなど大きな反響があり、水難事故防止の学校教育に有効な場所であるという検証結果が得られました。それでは最後になりますが、自主事業で行っております、ラフティングツアーの動画をご覧ください、ツアーや施設の雰囲気を味わっていただければと思います。ではご覧ください。</p> <p>ご視聴ありがとうございます。ありがとうございました。</p>
高島部長	<p>ただいまのプレゼンテーションにつきまして委員の皆様からの質問などありますでしょうか。</p>
守泉委員長	<p>東京に来る旅行会社などとの連携状況はいかがでしょう。水難などの学習効果も含めてプログラムするなどの可能性について。</p>
施設職員	<p>専門のそういう団体さんにお話を伺うと、愛知県とかが結構東京に来る修学旅行多いという話を聞いて、そこに集中的にご案内したりとかするのですが、やはりですね。単純にラフティングをやりたいってところだったりとかカヌーをやりたいってところもありますし、中にはおっしゃるように水難的な要素、学習的な要素を入れたりとか、いろんなお話をいただいてましてですね。我々もその中でいろいろプログラムをカスタマイズして、じゃあラフティングと、例</p>

	<p>えば見学会とかそれを組み合わせて1時間にしましょうとか、そういったことで本当に学校さんごとにいろいろニーズを聞きながら組み立てている状況です。</p> <p>可能性としては本当にそういったお話いただいているので、今後も水難とかそういった部分でもお話があるのかな、ご興味があるのかなというふうには感じております。</p>
守泉委員長	ぜひ、そういうので、利用増に結びつけていただければありがたいと思います。
施設職員	ありがとうございます。
石黒委員	<p>ありがとうございます。自主事業もかなり幅広い利用者をターゲットにして、いろいろ展開されていて面白そうかなと思います。</p> <p>利用の優先順位というか、収入の絡みでお伺いしたいのですけれども、現状一番優先される利用者というのは、団体利用になりますか？</p>
施設職員	<p>そうですね。これは施設の条例上ですね。まず、団体予約、専用予約ですね。専用利用が最初にあって、立て付けとしてはその空いている部分を個人の利用に供すというようなそういう仕組みになっていますので、まず団体の枠を受付けてから個人の枠を作る、そういった順番になっています。</p>
石黒委員	<p>そうするといろいろ創意工夫を発揮できるのは自主事業だけでも、団体が欲しいといたら、自主事業の枠がどんどんなくなっていかないということになりますか？</p>
施設職員	<p>そうですね。自主事業の枠としましては、今、団体の枠がそんなにいっぱい埋まっちゃうぐらいまでは、まださすがにそんなに早くなくてですね。今、計画的に自主事業というのは今までの経験の実績もありますので、これぐらいの回数やれるだろうという見込みでやって、ニーズと利用回数というのはマッチしてきているのかな、というふうに思っています。</p>
石黒委員	<p>今、拝見したらラフティングとか、全部キャンセル待ちみたいな、すごいな。そういうのが。</p>
施設職員	<p>それがですね。利用がやっぱりどうしても時期が集中するので、我々もちょっと事前のご質問でもいただいたのですけれども、ラフティングが人気があるからといって。じゃあ、期間を伸ばそうとするとなかなかその期間を伸ばすと分散しちゃったりとか。その期間は来るのですが、パラパラしか来なかつたりするので、そうすると我々もなかなか運営していくという意味では厳しいかなと。</p> <p>いかに人気のあるところに、もう何台ボート出せるかというところがありまして、それに取り組んでいるところです。</p>
石黒委員	ありがとうございます。収入はどういうふうに、やっぱり団体利用の比率が。
施設職員	<p>そうですね。一番やっぱり大きいのは専用利用をいただくのが一番、施設利用料がまとまった金額になっていますので、そこが一番大きいかな、というところ</p>

	<p>になります。自主事業のラフティングツアーとかも単価は多分、一般のスポーツ施設の事業としては高い方だと思うのですけれども、どうしてもやっぱりそこにラフティングガイドっていう専門の業種のスタッフがついたりとか、支出も多いものですので、収入の一番利益が上がるっていうと、やっぱり専用利用で大きく使っていただくっていうのが一番大きな収入になります。</p>
石黒委員	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
大日方委員	<p>すごくいろんなことに取り組まれているなと思って。ラフティングは、テレビとかでやっていて、かなり周知が高まっているのかな、というふうに思います。パラカヌーとか、かなり講習会とかもされてますけど、ラフティングって障害のある人は乗れるものですか？</p>
施設職員	<p>はい、乗っていただいております。ただ、一人一人障害の程度というのが違いますので、そこは確実にヒアリングをして、こういったご案内はここまでできますとか。こういった状況ですけれどもどうでしょう、大丈夫ですかとか、そういった形でやっています。実際に参加いただいていますね。</p>
施設職員	<p>車いすユーザーの方ですとか、あとは聴覚障害をお持ちの方ですとか、あとは知的障害をお持ちの方にお申し込みいただきまして、申し込みいただく際にそういった特別な配慮が必要な方はご連絡くださいというふうに申込みフォームに記載していますので、既にご連絡いただいて、今ご案内をしたように、こういう形でしたら大丈夫ですよ、というようなご案内で、相談させてもらって参加いただきました。</p>
大日方委員	<p>大変優れた対応だな、というふうに思いました。なかなかそこが、情報がないので、できるのか、できないのかというところでまず分からなくて。</p> <p>というところで、予め書いていただいて、合理的に配慮していただくというのはすごくよかった、というふうに思いました。ありがとうございます。</p>
守泉委員長	<p>自分たちがラフティング等で滑った、乗っているところの映像を、後で販売して買えるとかという仕組みってあるのですか</p>
施設職員	<p>はいこちら今、無料でやらせていただいております。ラフティングやっている風景を写真で撮ってですね。パスワード、その合言葉みたいなのを、参加者だけをお伝えをしてここにアップしていますので、ご自分で必要なものをダウンロードしてください。という形で無料でご提供しています。</p> <p>民間の川でやっている事業者さんはお金取ったりもしていますけれども、我々はやっぱり公共施設として結構いい値段って認識されると思いますので、そういったものも含めてどういった付加価値付けられるかな、というところで、そちらも無料で。逆に、それを基本的には写真撮っていいですか、ということで、事前にチェックして頂いているのですけれども、いいですという方を撮っているの</p>

	<p>で、それが逆に広報効果につながったりしてあるのかなと思っています。</p> <p>それを拡散していただいて、楽しみが増して、次の利用者につながっていく。そういったことも含めて無料でやらせていただいています。</p>
守泉委員長	<p>東京都との話し合いかもしれないですけど、今後大分、成長になってきた場合に、静止の写真は無料だけでも、動画は多少お金取りますよ、みたいな形にそろそろ、どこかで切り替えて収益の一つにさせていただいてもいいのかな、というふうに思います。</p>
施設職員	<p>ありがとうございます。利用者のニーズも含めて検討させていただきます。ありがとうございます。</p>
大日方委員	<p>アンケートの調査数がかかなり少なかったかなと思うのですが、この辺りはどういった事情で個人で回答数が5、全人数5だったと思うのですが、</p>
施設職員	<p>アンケートの方はですね。まず館内でよく一言をみんな書けるような紙を置いてあるのと、あと、申請書にQRコードを貼っておいて、書いてるところを見られたくない人も中にはいると思うので、QRで読み込んでスマホとかで問い合わせとかをできるようにしています。</p> <p>あとは、自主事業とか大会ですとか、ツアーとかの中でウェブ上でアンケートを取っております。あとは水上施設で割と限られているという言い方がありますが、結構お客さんとの距離が近くて、終わった後とかに会話しながら、ちょっと今できませんかというので、できるものは対応してできないものは一旦ちょっと待っていただいて、社内で検討して、お客様にこういうのだったらできますとか、ちょっとできないですという。こまめにちょっと取ってもらえる。</p>
施設職員	<p>おっしゃるように数が少ないかなと思っているので、その辺は積極的にもうちょっと取り組んでいくべきかな、というふうには感じております。</p> <p>ただ今、補足として申し上げたとおり、他の施設と比べてとても距離が近い、スタッフと距離が近い施設になっているのかな、というところがありまして、ラフティングなんかはやっぱ一体感がでるので、そこで直接ご意見いただいたりとか。水上の競技の方なんかは毎日のように来て繰り返し使っている方が多いので、直接本当にご意見いただきながら新しい施設ですので、じゃあ、もうちょっとこういう運営にしようとか、そういったところで改善とかこういったのも含めてやらせていただいています。</p> <p>数の方は、頑張って増やしたい、と思いますありがとうございます。</p>
施設職員	<p>アンケートの件数なのですけども、ラフティングツアーが昨年一番アンケートが取れていて、参加者に対して約300件近くアンケートを現地で書いていただきました。</p> <p>その他に今、金子がお伝えした利用者のアンケートなのですけども、先ほど</p>

	<p>お伝えしたように、延べの利用者は実はそんなに多くなくて、リピートで何回も1日何回かとか使ってくださる方が多いのですけれども、そういった方にもヒアリングだけではなくて、しっかりとアンケートを取って通常的なご意見をデータとして聴取するようにしています。</p>
高島部長	<p>他に質問はないようですので、審議に入りたいと思います。カヌー・スラロームセンターの皆様、ありがとうございました。</p>

カ：【カヌー・スラロームセンター】二次評価の審議

高島部長	審議の進行は委員長に交代させていただきます、守泉委員長よろしくお願いたします。
守泉委員長	それではカヌー・スラロームセンターの二次評価について事務局より説明をお願いいたします。
小宮山課長	カヌー・スラロームセンターの二次評価案でございます。 困難な施設をうまく管理しながら施設の取り組みを充実している。評価水準通りに適正な管理を行っている、利用者が安全に快適に利用できるよう適正な管理を行っている、利用方法が限定されかねない特殊な施設であるにも関わらず、様々な工夫が展開されている。ランニングイベント、キャンプイベント、広報活動等を積極的に取り組んでいる。などのコメントをいただいています。
守泉委員長	ありがとうございました。それでは、カヌー・スラロームセンターの二次評価案をベースに、評価について5分程度で調整させていただきます。委員の皆様、ご審議のほどよろしくお願いたします。 まず評価ですが、一次評価案のSに対して3人がS評価、2人がA評価ということになっております。そのために評価を調整させていただきたく評価についてご意見をお伺いしたいと思います。では、A評価の2名の方のご説明をお願いいたします。
小海員長	間違えました、S評価で結構です。エクセルの表記ゆれかと思えます。
丸山委員	だいたい全体的にちょっと私のは評価が低いです。Bよりは確かに優れているけれども、私はAにしたのですけれども、皆さんのご意見で結構ですね。
守泉委員長	どのあたりを改善が望まれる点のところ、今、アンケート回答数が少なく母集団が推定できないというだけあるのですけれども、それ以外何か改善が望まれる点としてご意見がございますでしょうか。こうすればSにしてあげる、みたいなのが点あればありがたいですね。
丸山委員	ちょっとね、自分で使ってみるとね、そこは微妙なところはよくわかるのですけれども、見学者レベルではちょっとそこまで言えないなと思って。 確かに頑張ってよくやっているの、例えば特殊な施設なのだけれども、それをちゃんと活用して他のカヌー以外のものもね、いろんなものを利用できるようにしている。そういう努力をしているし、そういう企画もしているということで、Aでいいのじゃないかなというふうに私は思います。
守泉委員長	今の点改善要望のところ、少し何か今みたいな形に付け加えていただけるとうな。
小宮山課長	より多様な活用に取り組んでいくようなイメージでしょうか。
石黒委員	改善というよりか、今後の引き続きというくらいな、今までの中で一番いいと

	思うので。
丸山委員	改善ではないよね。
守泉委員長	もともとの施設というのが最初のころ、都市部にこういうのできるようになって世界でここしかない。スポーツ関係の大学の先生方も、海外でこういう事例は聞いたことがないという話だったので、そういう意味では、もっといろんな形で使えるとか。海外のプロというか、競技をやっている方たちを羽田空港から誘致をしてきて、ここで練習させるという道もあるかもしれないし、個人的に言うと、サーフィンでチューブの中に入った時のあの感覚というのが、これ波で何か実現できないかなと思う。乗ってから落ちる段階みたいな時に、水の中に入っているにもかかわらず呼吸ができるのですよね。波の間から見えるキラキラ光った感じがあるのですよね。そういう感覚みたいなものがここで味わえるようなことまでできると、またちょっと魅力になるかなと思いますので、何かその辺も今後取り組むところに少し付け加えていくかなと思っています。
澤崎部長	先生、それは設備的な制約が、要するに、高低差を利用して流している水に、オブスタクルというのにぶつけて激流のような流れを作るという施設ですので、海の波のようなものを発生するというのは、それはなかなか難しい。
守泉委員長	自分でやるのじゃなくて、その画像のやつを外から味わえるみたいなのは、理論的に一部でできるかな、という。ちょっと技術的なんとも言えないですけど。
小宮山課長	それでは、指定管理者の方にも私どもからこういうご意見がありましたということで、お伝えするということで。
大日方委員	<p>ちょっと書き加えていただきたい視点が2つあります。</p> <p>1つは、水難事故とかの防止とか水上スポーツの楽しさという、このセンターが都内にあるからこそできる、というところはかなり取り組んでいるので、そこを強化するというところですね。特に、毎年、水難事故というのは、悲惨な事故が起きている中で、なかなか経験できないけれども、こういったところでは、というところが良さだなど、もっと都民の方たちにも知ってもらいたいという思いがあります。</p> <p>もう1つ先ほど質問したことなのですが、非常にアクセシビリティに関しても、それぞれの施設でアクセシビリティを考えること、というのがあるのですけれども、実際にアクティビティを提供するという運用の中で、このような合理的配慮ができますよ、ということをしつかりと示しているところって、ほとんどないのです。</p> <p>特に屋外のアクティビティであつたりすると、なおさら少なくなる中で、こちらでは非常にしっかりと対応されているというところについては、ぜひ評価をすることで、他の事業者さんにもそれを学んでいただきたいな、と思います。</p>

小宮山課長	はい、ありがとうございます。付け加えさせていただきます。
守泉委員長	一次評価どおりの、Sということで、決定させていただきます。ありがとうございました。進行を事務局にお送りさせていただきます。
高島部長	はい、ここで一旦5分間休憩したいと思います。よろしくお願いします。

キ：【大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場】指定管理者によるプレゼン、質疑

発言者	内容
高島部長	<p>定刻になりましたので会議を再開したいと思います。それでは大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場の指定管理者によるプレゼンテーション、質疑及び二次評価の審議を行いたいと存じます。</p>
事務局	<p>それでは指定管理者によるプレゼンテーションとなります。プレゼンの時間は10分間、時間厳守でお願いいたします。プレゼンの後に質疑の時間は5分ほどとっておりますので、よろしくお願いたします。プレゼンにつきましては、残り3分のところでベルを1度鳴らします。また、10分経ちましたらベルを2度鳴らしますので、その時点で終了となります。それではよろしくお願いたします。</p>
施設職員	<p>それでは大井ホッケー競技場における令和5年度の運営状況についてご説明いたします。私はアメニス海上南部地区グループ代表企業、日比谷アメニスの山中と申します。どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>最初に令和5年度の総括ですが、令和5年度は多目的利用に向けて大きな一歩を踏み出した1年と見えます。前年度同様に開催されるホッケーやラクロスの大会に加えてタッチラグビーやフラッグフットボールの大会が開催されました。また、一般団体での利用となりますが、フットサル大会や子ども向けサッカーイベントなども開催されております。加えて、中学・高校の体育祭利用、企業の運動会、ランニングイベント、ファッションショー、ウェディングでのご利用まで幅広い利用がありました。競技大会以外のイベントは初めての開催ということも多く、関係者と細かい打ち合わせを重ねながら当日を迎え、これらの経験は今後の様々な活用における貴重なノウハウの蓄積になったと実感しております。総活が長くなりましたが、それでは資料に沿って施設の管理状況からご説明いたします。</p> <p>まず、施設の設備の定期点検や日常点検、通常の清掃業務に関しては維持管理業務仕様書に従い確実に実行しておりますが、令和5年度は建造物や設備の不具合、劣化が見られるようになってきました。月次点検や巡回点検で不具合もしくは違和感がないか等早期発見に努めるとともに、不具合が発見された場合にはまず自社で対応、自社で補修が難しい時は速やかに専門業者を依頼し対応するようにしております。</p> <p>修繕では、メインピッチの電光表示装置の表示不具合、シーリング劣化によるサブピッチの雨漏り補修、サブピッチ場内カメラの不具合等補修業者に依頼し修繕を行ったほか、スライド扉の故障やバリカーの故障などは部品のみを取り寄せ、自営で交換作業を行うことでコスト削減を図っております。また、屋上や外壁で見つかった錆や塗装の剥離を懸念して再塗装を行うなど、状態が悪化する前</p>

に対応を行っております。そのほか、3階廊下で鉄板の落下が確認された際には速やかに都へ報告し、廊下への立ち入り禁止と施工業者による補修対応を実施しております。

それから2023年11月に行った建築基準法第十二条点検で発覚したメインピッチのコンコース天井パネルのひび割りについては都への報告、施工業者への対応はもちろんのこと。現在も月に1度以上の目視点検、また地震や強風の後などに都度異常がないか確認するといった臨時対応も行っております。

あと重点的に実施しているのが、植栽管理と人工芝メンテナンスです。植栽管理は計画に基づき実施したほか、令和5年度は暖かい時期が長く続いたため、草刈りをメインピッチ・サブピッチともに回数を増やして実行しております。また、隣接する樹木から落ち葉が入らないよう樹木剪定も実施しております。

人工芝のスポーツトラクターによるメンテナンスは、仕様では年4回のところ、月1回以上、計16回のほか、別途落ち葉清掃を実施するなど、グラウンドを気持ちよくご利用いただけるよう努めております。そのほか、メインピッチと多目的コート間の防球ネットに複数の穴が見受けられたため、ネットの二重化を図り、安全性を高めるだけでなく多目的コートの落ち葉がメインピッチに流れるのを防止することができ、維持管理の効率を高めることができました。

続いて、優先受付についてですが、これまで人工芝の使用上の理由で申し込みいただけなかった団体にも継続して声かけを行い、施設の利用状況等をお伝えしてきました。その中で、アメフト団体様から小学生向けのフラッグフットボール大会の申し込みを獲得することができ、このご利用がきっかけとなって令和6年度において開催回数を増やした申し込みにつながっております。優先受付のご希望は、大会規模を考慮しながら、競技が偏りすぎないように配慮し、他の日程のご提案も含めて一定の満足を得られるように調整を図っております。

結果、ホッケー日本リーグ、全日本ホッケー大会、全日本選手権大会などホッケーの主だった大会や、ラグロスの日本代表チャレンジマッチや全国地区ラグロスリーグ戦などのラグロスの大会、タッチラグビーのリーグ戦やフラップフットボール大会、空手祭のランニングイベントも申し込みをいただきました。30を超える大会、様々なスポーツの誘致ができ、多目的利用という目標に一歩ずつ前進している手応えを感じております。

続きまして施設の利用状況、事業の取り組み効果についてご説明いたします。団体利用状況、目標大会数の達成状況ですが、利用コマ数においては各施設の前年比100%を超える結果となりました。メインピッチ122%、サブピッチ114%、多目的コート132%となっております。大会会場としての練習利用が伸びているほか、令和5年度は中学高校の体育祭、企業の運動会、ファッションショーの開催、ウェディングでのご利用の幅が広がっているのが特徴的です。大会利用にお

いては、ホッケー大会 23 大会の目標に対し 26 大会の開催ができました。

そのほか、ラクロス、タッチリーグ、ブラックフットボールの大会を 9 大会開催できており、計 35 大会を開催しております。スポーツ振興事業では、親子・大人も参加可能なチャレンジホッケー教室、タッチラグビーの体験会と、高校大学のプレーヤー向けにテクニック向上を目標としたラクロスクリニックを開催しました。ホッケー教室は親子参加可能としたことで、祖父母を含むご家族でのご来場一緒にプレーを楽しむ姿が見受けられるようになりました。幅広い世代に向けて様々なスポーツに触れる機会を提供できたと感じております。

自主事業では、昨年度から継続して開催している体幹トレーニングのほか、小・中学生向けホッケースクールと大人向けのエンジョイホッケーを開講、また小学生・中学生以上の初心者・経験者向けにラクロススクールを開講しました。スポーツの日イベントでは昨年度までの競技寄りの企画に加え、チアダンスやフットゴルフなど様々な方にご参加いただける企画を盛り込みましたが、あいにくの雨天予想で雨の逃げ場のないサブピッチイベントが中止とし、メインピッチのみでホッケー観戦、ホッケー体験、オリンピックによるホッケー教室の開催となりました。

その際、特別室にて 2020 オリンピック大会のアーカイブ品記念品の展示も公開しております。利用者に対するサービス提供事業としては、熱中症対策、災害レンダーともなる自動販売機をサブピッチにも設置しました。また、日本代表国際親善マッチの開催時のキッチンカーでは完売が発生するなど大いに賑わいを見せておりました。

利用者ニーズの把握では、イベント参加に関するアンケート、施設利用に関するアンケートの 2 通りのアンケートを実施しております。アンケートの回収後は満足度やご意見の確認を行い、すぐ対応可能なものは対処するように努めております。また、競技団体とは利用者懇談会も開催し、率直な意見交換も行っております。サービス向上の具体例としては、多目的コートとメインピッチの間において夜間照明が十分に届かない状況であったため、電源を確保しセンサーライトを設置したり、多目的コートとメインピッチとの間のネットの二重化を実施したりと、ボールの通り抜けに対する安全対策を強化すると同時に、ネット下の隙間からメインピッチへ落ち葉が流れるのを防止することができました。

そのほか、ラクロスの練習利用が増えてきたことを受け、メインピッチヘラクロスゴールを追加購入いたしました。公園と周辺施設との連携協力については、品川区様と夏にホッケー競技場にたまる雨水をろ過した雨水を利用した打ち水イベントを共催したり、3 月の防災体験イベントで煙テントのご協力をいただいたりしました。

防災体験イベントでは大井消防署八潮出張所様にもご協力を賜り、消火活動や

	<p>消防士体験、AEDを使った救命体験など、地域の皆様にいざというときに役立つ知識をご紹介しますことができました。</p> <p>以上、大変駆け足ではございましたが、ご説明を終わります。ご静聴ありがとうございました。</p>
高島部長	<p>ありがとうございました。ただいまのプレゼンやセッションや施設運営等につきまして、委員の皆様よりご質問がございましたら、5分程度でご発言をお願いいたします。お願いいたします。</p>
丸山委員	<p>ホッケー以外に、今説明いただきましたけど、ラクロスとかフットサルなどに利用していただいているということですが、中学校の体育祭とかそれから企業の運動会とかにもお使いいただいているということですので、その運動会とか体育祭を終わった後の評価というか、感想というか、どんなふうに伺っていますか。</p>
施設職員	<p>皆さん喜んで、オリンピックも開催された会場でできるということに非常に喜んでいただいているというのと、令和5年度は久しぶりに体育祭をやったという学校さんが多かったのも、保護者の方も見学とかに来られてすごく喜んでいただいているそうですね。今年度もまた開催していただきます。</p>
丸山委員	<p>そうですか。お疲れ様でしたありがとうございます。</p>
守泉委員長	<p>2点ご質問なのですが、まずサブピッチのところの雨天の時の対応で、何か仮設とかのものか何かで十分な対応ができるという可能性はないのか、というのが1点目。</p> <p>それからとスポーツの日というので、あんまり計画ほど人が集まらなかったといったときにその日私行ってないのでわからないのですが、スポーツの日だからって、ここはオリンピックの施設だからってあまり堅苦しく考えずに、大田区なので近くに大田市場があるので、そういうところと連携して何か食も楽しめるよ、みたいな感じで盛り上げる形で集められる可能性というのはないのか、という点についてお聞きしたいです。</p>
施設職員	<p>まず1つ目の雨天の対策ということなのですが、サブピッチの場合はスタンドがあまりなくて屋根が全くない状態なのですね。あとはイベント内容そのものがお子様向けに参加いただけるものが多かったのも、やはり雨天ということになるとお子さんもあまり来られないということで中止という形を取らせていただきました。申し込んでいる方が結構お子さんが多かったのですね。</p> <p>大田市場とか近隣のところとの提携ということなのですが、公園の中にホッケー場がありまして、多分公園と一体になってという形での盛り上げという形であればできるのかもしれないというふうに、今お話を伺っていて思いました。ホッケー場としては、敷地がかなり公園の中の限られたところになってしまっていますので。</p>

守泉委員長	はいありがとうございます。
大日方委員	<p>いろんなことに取り組まれていると思って、そういった取り組みもチャレンジされているのでよいかと思います。</p> <p>ホッケー場ってなかなか日本国内でもそんなに多くはなくて、実は見る機会というのがあまり多くない。実は私も結構ホッケーを見るのが好きなのです。練習や試合をどこでやっているのかわからないけど、見るという機会というのも必要だなというふうに感じています。</p> <p>来場者数が計画 20 万人に対して 10 万人だったということでご回答いただいている中で、思ったよりも見る人が少なかったということだと思うのですが、そこあたりに対して、ホッケーなりラクロスとして使われていることの周知とか、周りの方々が無料で見ることができるときも多いのではないかなと思うのですが、そのあたりに何か工夫されていたりしますか。</p>
施設職員	<p>今までそこはあまりできていなかったというのは、直前まで大会の情報が入ってこないというのがありましたので、今後、競技団体さんと早めにこれは公開なのですか、と確認した上で、公表できるものを公表していけたらと思います。</p>
大日方委員	<p>そうですね。見る機会も増していくということでもいいと思いますので、直前でもいいので、そういった情報をアップされていくということが、こういった場所柄、土日とか特に週末なんかは何か見に行きたいなという気持ちになった人が足を運べればと思います。</p>
高島部長	<p>他にいかがでしょうか、よろしいでしょうか。他に質問等がないようですので、以上としまして審議に入りたいと思います。大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場の皆様、ありがとうございました。</p>

キ：【大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場】二次評価の審議

高島部長	ここで審議の進行は委員長に交代させていただきます、守泉委員長よろしくお願いたします。
守泉委員長	それでは大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場の二次評価案につきまして、事務局により説明をお願いいたします。
小宮山課長	大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場に関する二次評価案でございます。 委員の皆様コメントとしましては、事業計画について適切か手順通りに適正な管理を行っている。清掃や収支状況を中心に安定した管理運営がなされている。全国規模の大会を推進するなど、適切な手順について実施されている。稼働率については少ないというコメント、あとは、利用者数が目標に届かないながらも、幅広い利用者にアプローチが行き届いているというようなコメントをいただいております。以上でございます
守泉委員長	はいありがとうございました。それでは大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場の評価につきまして調整させていただきます。 委員の皆様、ご審議のほどよろしくお願いたします。まず一次評価案なのですけれども、合計点 42 点ということで、あと 1 点で A になるような比較的高い評価ですが、B という形になっております。これに対してこれまでの各委員の評価のところでは 5 人が B 評価、つまり一次評価案と同じ、1 人が A 評価という形になっております。そのため、評価を調整させていただきたく評価についてご意見のある方、特に A 評価とされた方のご意見をお聞きしたいと思うのですがよろしくお願いたします。
小海委員	最初 A にしたのは、一番初めにいただいた資料の点数が 44 点だったので、確実に A の枠にあったという目で全体を見て、多分 A にしたのかなと思ったのですけれども。あとは自主事業のスポーツ振興事業がなかなかまだ広がっていないという感じとか、A にしてはちょっと足りないかな、というふうに見ています。
守泉委員長	はい、ありがとうございます。そもそもホッケーの盛んな地域というか、学生のホッケーが盛んなのは関西なのですよね。ですから、そういう面では、東京にこう作った時にオリンピックはいいのだけど、その後の浸透はどうなのだろう、というのがかなり議論になっていて、どうやって調整してどこまで頑張って引っ張ってくれるのかと。その中では意外と努力されているというのが、やはり一次評価の中でも印象なのだと思います。特にホッケーの聖地というような形で大井を捉えると、そういうようなブランド価値を高めるための努力を日々やってきていますねと。目黒のさんま、大井のホッケーというのがもあるかもしれないですけど、そういう面で B だけでも 40 点というのが一次評価だと、それを踏まえた形で、今の小海委員の話では B でいいということなので、結論としては B というこ

	<p>とでいいと思うのですけども。</p> <p>あと最後に何か特記事項等に加えるべき点というのがあればご意見を聞かせていただきたいのですが、何かございますでしょうか。</p>
大日方委員	<p>一次評価のところちょっと確認をしたいのですが、他の例を見ると、サービス向上に向けた取組というところを他と横並びすると、やっていることの割にはやや厳しめな評価だなと。ちょっと他を見ていたのですけど、評価されているところというのは、ニーズに合わせて自販機を設置したり、キッチンカーを呼び込んだりといったところについては、他のところでは見受けられるのですね。ここはそれに加えて、例えばセンサーライトを設置したりというところもされているのだけれども「○」という。ここがどういうふうに評価をされたのかということについてお伺いしたいです。</p>
小宮山課長	<p>サービス向上に向けた取組に関しましては、当初のヒアリングあるいは管理者から提出された資料の中でメインピッチにラクロスゴールを追加予定であるというような記載であったりというのはあります。ただ、こちらについては予定なのだけどいつなのか、というところが不明確であった点ですとか、あとはアクセシビリティについて、というようなところはあるのですけれども、これもあくまで水準通りかな、というような評価になってございます。</p> <p>ただ大日方委員ご指摘のとおり、具体的に今のプレゼンの中で出てきたような事柄があるのであれば、一次評価としても評価できたかな、というふうに思っております。</p>
大日方委員	<p>ありがとうございます。多分この辺りの書きぶりのうまさ下手さみたいなのが表現されちゃったかなと思うのですけど、多分何をもってサービス向上なのか、というのも、例えば例示があったりすると、非常に今回評価されているポイントってかなり明快なので、と感想も持ちましたので、そこも含めて一次評価案を考えていただきたいのですが、そうなると変わっちゃうのかな、もしそうされるということになると。</p>
守泉委員長	<p>今のところ考えると、特に評価すべき点のところ細かい施設の整備というところを評価しつつ、それによる集客などについて今後期待される、みたいな形の表現であれば、その部分はある程度は入れられるのかなと思うのですけど、いかがでしょうか。</p>
石黒委員	<p>事前質問でも出させていただいた、来場者数計画 20 万人に対して 10 万人というのは気になっていて、回答を見たら更新前の目標値ですというふうなことは書いてあって、そちら問題ないのかなと思ったり、でもこの傾向、あるいは翌年度に向けてどのようになっているのか。問題ないという認識でよいのか。</p>
小宮山課長	<p>20 万人というのが当初選定した際に、指定管理者の提案で提示された数字で</p>

	<p>す。その数字が目標数値となっています。</p> <p>現実として、令和4年度から令和5年度にかけて来場者数が増えてきているというところに関して、我々としては、取組の面ですとかは理解しており、取組の評価についてもさせていただいているところでございます。</p>
石黒委員	<p>それがすごく収支に悪影響を与えているということでもなく、最初だったし、ちょっと目標値間違えちゃったね、という話で大丈夫ですか。</p>
小宮山課長	<p>利用者数というのは、いわゆる収入につながるところでございます。それが目標値に行かなかった時に、では支出をどういうふうにするのというの、彼らはしっかりと調整してやっている所ですので、もちろん利用者数が伸びれば利用料収入が伸びていくということですが、全体としての経営状況、収支状況としては安定しているというふうに思っています。</p>
大日方委員	<p>もう1個質問です。ホームページが、ここ海上公園の中にあるので探りにくいのですが、これは何か指定管理者が何かできるものではないというのか。</p>
小宮山課長	<p>昨年度の評価委員会でもご指摘いただいていたと思います。それで今、指定管理者のほうで、改修中というふうに承知しています。指定管理者が作っているホームページでございますので、公園と一体となっているものでございますけれども、少しホッケー場のところをしっかりと作るというふうに聞いております。</p>
大日方委員	<p>そうなのですね。ぜひ、それを取り組むべき点で書いていただきたい。</p>
石黒委員	<p>公園全体を一括して、指定管理に出てもいいのか。</p>
小宮山課長	<p>現状その通りで、合同選定という形で、海上公園と我々スポーツ施設と一緒に選定をさせていただいています。</p>
大日方委員	<p>ちなみにドックランとか、広場とかも。</p>
小宮山課長	<p>海上公園の施設になります。</p>
大日方委員	<p>それは、一緒にこの。</p>
小宮山課長	<p>はい、日比谷アメニスのグループが管理をされています。</p>
澤崎部長	<p>経緯を申し上げますと、もともとここは大井ふ頭中央海浜公園という公園で、道路を挟んだ西側になぎさの森という海沿いのエリアがあり、こちらがスポーツの森というテニスコートとか陸上競技場とかそれから今サブピッチになっている多目的グラウンドですとか、あと隣に大田区の施設ですけど野球場があったり、あと軟式野球場が土のグラウンドが4面、6面かなあったりという、そういう大きいスポーツ公園だったのですね。</p> <p>そのうち、このホッケー競技場にあたる部分をオリンピックの際に改修をして当局にスポーツ施設として改めて東京都の中での位置づけが変わったということなのです。</p> <p>公園の姿としてはですね、昔からこれ一つの複合的なスポーツ施設を備えた海</p>

	<p>上公園ということなので従来からの利用者の方にはむしろ公園として一つの提示にまとまっていた方が分かりやすいという面もあってですね。</p> <p>そこから抜き出して、どういうふうに分かりやすいページにするか、というのを検討してくれているということかと思います。</p>
守泉委員長	<p>公園自体は港湾ですね。港湾局と大田区と、それからスポーツとしては生活文化スポーツ局というふうに分かれていて、そういう面ではうまく調整をしてやらないと大きな一体としてのものができなくて。</p> <p>そういう局間のいろんな調整だとかがまだまだいってなくて、その辺はあんまり東京都に頼らずに、自分たちで動いてくれると、もっといい評価になってくる。さっきの 20 万人というのも、もっと色んなことが調整すると一体としてできるのです、そこをもう少し本当は指定管理者の方が頑張ってくれよ、というところ。</p> <p>ということでよろしいでしょうか。今のお話のところを盛り込んでいただけるとありがたいと思います。</p> <p>評価に関しては、一次評価どおりで、よろしくをお願いします。では進行を事務局にお戻しさせていただきます。</p>

(3) 全体整理

高島部長	評価についてのご確認と、バランスでなども踏まえて全体整理をお願いします。
小宮山課長	午前中にですね、武蔵野の森総合スポーツプラザにつきましてS評価ということとでいただいております、その際に、関連するカヌー・スラロームセンターの状況も踏まえながら、という話もございましたがその点につきましてはいかがでしょうか。武蔵野の森総合スポーツプラザの評価について確認をお願いします。
守泉委員長	先ほどの我々の話で、変更した方がいいか、それと全体の中でこのままでいいかということになります。
大日方委員	確かに聞いてよかったなと思いましたが、SにはSの理由があるのだなと感じは、正直受けました。
石黒委員	2つを比較するとSでいいのかなという気はするものの、これ、相対評価じゃないですね。絶対評価だけれども、施設さんで評価基準をぶれすぎないように調整しましょうという理解ですね。 武蔵野の森を単体で見たときにそんな大きな問題はないですし、いろいろ頑張っている。そういうのはあるので、Sのままでも問題はないかなと思います。
小宮山課長	ありがとうございます。審議としましては、以上ということになります。
高島部長	よろしいでしょうか。以上で本日予定しておりました審議は終了いたしました。委員の皆様方におかれましては、ご多忙中のところ、長時間にわたる会議にご出席いただきましてありがとうございました。 今後も東京都のスポーツ振興にご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。ありがとうございます。